

獣医療を提供する体制の整備を図るための宮城県計画
(令和3年度～令和12年度)

令和3年3月

宮城県

●目次

●宮城県における獣医療を取り巻く情勢と獣医療を提供する体制の整備に係る基本方針	2
●第1 獣医療を提供する体制の整備を図るための地域区分	3
●第2 整備を行う診療施設の内容その他の診療施設の整備に関する目標	5
1 診療施設及び主要な診療機器の整備の現状	
2 診療施設の整備に関する目標	
●第3 獣医師の確保に関する目標	7
1 獣医師の確保目標	
2 獣医師の確保対策	
●第4 相互の機能及び業務の連携を行う施設の内容及びその方針	12
1 組織的な家畜防疫体制の確立	
2 診療施設・診療機器の効率的利用	
3 獣医療情報の提供システムの整備	
4 診療効率の低い地域に対する診療の提供	
5 産学官が連携した研究開発	
●第5 診療上必要な技術研修の実施及びその他の獣医療に関する技術の向上に関する事項	13
1 臨床研修	
2 高度研修	
3 地域の実情に応じた研修	
4 生涯研修等	
●第6 その他獣医療を提供する体制の整備に関する必要な事項	14
1 行政分野において適切に獣医療が提供できる体制の整備	
2 飼育者の衛生知識の啓発・普及等	
3 広報活動の充実	
4 診療施設の整備	
5 その他	
●参考資料	15

●宮城県における獣医療を取り巻く情勢と獣医療を提供する体制の整備に係る基本方針

本県における獣医療は、これまで飼育動物の診療、保健衛生指導等を通じて、畜産業の発展、動物の保健衛生及び公衆衛生の向上に大きく貢献をしてきましたが、近年獣医療を取り巻く状況には、著しい変化がみられています。

産業動物分野においては、国内の畜産業に甚大な被害を及ぼす口蹄疫、豚熱及び高病原性鳥インフルエンザなどの特定家畜伝染病が断続的に発生する中、家畜の伝染性疾病の発生予防や的確な防疫措置、家畜改良、飼養管理の改善等による生産性向上や省力化等による畜産の生産基盤の強化を支援し、さらに、産業動物獣医師等の養成・確保や診療技術の高位平準化を図ることにより、安全な畜産物の安定供給に寄与することが求められています。また、万が一の特定家畜伝染病の発生に備え、市町村、関係機関と連携した危機管理体制の検証を繰り返すことにより、防疫体制の一層の強化が必要となっています。

小動物分野においては、動物の愛護や適正な飼養に関する意識の向上に伴い、飼育責任への認識が広がるとともに、飼育者の多様なニーズへの適切な対応が求められています。こうした中、獣医師と、動物看護に従事する者との連携によるチーム獣医療の提供体制の整備を図るため、動物看護職の技能・知識を高位平準化する取組が推進され、令和元年6月に愛玩動物看護師法(令和元年法律第50号)が制定され、愛玩動物看護師が国家資格化されたところです。本県においても、高度医療や適切な飼育に係る普及・啓発を推進するため、獣医師と愛玩動物看護師を含めた動物の看護に従事する者との連携によるいわゆるチーム獣医療体制整備の検討が必要となっています。

また、人や物の移動の拡大等グローバル化の進展等に伴う新興・再興感染症の侵入・発生のリスクの増大に対して、人、飼育動物及び野生動物並びにこれらを包含する生態系の健康を一体的に維持するという「One Health」の考え方に基づいた学術研究や感染症予防・管理対策、家畜衛生・公衆衛生のニーズに対応した様々な取組が、なお一層求められるとともに、これらの分野における獣医師の果たすべき役割が高まっています。

一方、近年、獣医学を専攻する学生の産業動物分野への就業希望が少ないという国の調査結果が示すように、産業動物及び公務員獣医師が減少していることから、本県畜産業の振興、食の安全の確保等を図るためにも産業動物分野及び公務員分野に携わる獣医師の確保が喫緊の課題となっています。

獣医療を提供する体制の整備を図るための宮城県計画は、期間を令和3年度～令和12年度とし、「宮城県酪農・肉用牛生産近代化計画」、「みやぎ食と農の県民条例基本計画」、「宮城県動物愛護管理推進計画」等を踏まえ、家畜伝染病の発生予防、飼養衛生管理の高度化対策、家畜衛生対策による生産性向上、食の安全安心を確保する公衆衛生対策を担うことができる獣医師の確保及び養成を計画的に推進し、本県の総合的な獣医療の向上を図ります。なお、昨今、獣医療を巡る情勢は目まぐるしく変化しており、その変化に柔軟に対応するため、5年を目安に、計画の見直しを図ります。

●第1 獣医療を提供する体制の整備を図るための地域区分

(1) 地域区分

本県における獣医療を提供する体制を整備するための地域区分(以下「地域区分」という。)は、現在の家畜保健衛生所の所管区分(大河原, 仙台, 北部, 東部)とし、公益社団法人宮城県獣医師会(以下、県獣医師会)及び公益社団法人仙台市獣医師会(以下、市獣医師会)並びに宮城県農業共済組合の4か所の家畜診療センター所管地域との対応表は以下のとおりとなります。

表1 地域区分

(令和3年1月1日現在)

家畜保健衛生所	獣医師会	宮城県農業共済組合		市町村(旧市町村)
		診療施設	支所	
大河原	県・仙南支部	県南家畜診療センター	県南	白石市・角田市・丸森町・七ヶ宿町・蔵王町・大河原町・村田町・柴田町・川崎町
仙台	県・中央支部	中央家畜診療センター	亙理名取	名取市・岩沼市・亙理町・山元町
			宮城中央	仙台市・塩竈市・多賀城市・富谷市・利府町・松島町・七ヶ浜町・大郷町・大和町・大衡村
	市獣医師会(仙台市のみ)	大衡支所	大崎	大崎市(三本木・松山・鹿島台) 大崎市(古川・田尻)・美里町・涌谷町
北部	県・大崎支部	中央家畜診療センター	六の国	大崎市(鳴子・岩出山)・加美町・色麻町
			栗原	栗原市(高清水・瀬峰・一迫・花山) 栗原市(築館・若柳・志波姫・栗駒・鶯沢・金成)
	県・栗原支部	県北家畜診療センター	迫	気仙沼市・登米市・南三陸町
東部	県・仙北支部		石巻	石巻市・東松島市・女川町
	県・石巻支部			
4施設	—	4基幹診療施設	8支所	35市町村



図1 地域区分

(2) 宮城県内の家畜及び犬の飼養状況

本県における、地域毎の平成 31 年の家畜及び犬の飼養頭羽数については表のとおりです。

牛・豚においては、大河原地域で1戸あたりの平均飼養頭数が多い傾向にあります。北部・東部地域は、肉用牛や豚の飼養戸数が多く、特に中から小規模の農場が多い傾向があります。

犬においては、都市部である仙台地域が他の地域と比べると飼養登録数が多くなっています。

表 2 宮城県内の家畜飼養頭羽数(平成 31 年 2 月 1 日)及び犬の飼養登録数(令和元年)

地域	乳用牛			肉用牛			豚		
	戸数	頭数	平均頭数/戸	戸数	頭数	平均頭数/戸	戸数	頭数	平均頭数/戸
大河原	125	7,813	62.5	228	13,786	60.5	17	51,723	3,042.5
仙台	44	1,606	36.5	162	4,448	27.5	9	331	36.8
北部	201	7,300	36.3	1,379	22,274	16.2	64	81,239	1,269.4
東部	94	3,511	37.4	1,026	35,036	34.1	64	65,000	1,015.6
計	464	20,230	43.6	2,795	75,544	27.0	154	198,293	1,287.6

地域	採卵鶏(100羽以上)			肉用鶏(100羽以上)			犬
	戸数	羽数	平均羽数/戸	戸数	羽数	平均羽数/戸	登録頭数
大河原	31	753,612	24,310.1	14	383,837	27,416.9	10,855
仙台	15	456,527	30,435.1	4	410,500	102,625	70,352
北部	20	3,464,566	173,228.3	13	617,100	47,469.2	14,884
東部	7	35,205	5,029.3	25	682,200	27,288	16,978
計	73	4,709,910	64,519.3	56	2,093,637	37,386.4	113,069

○家畜の飼養頭羽数:家畜伝染病予防法第12条の4に基づく定期報告から(平成 31 年 2 月 1 日時点)

○犬の頭数:宮城県動物管理関係統計資料(令和 2 年 3 月 31 日公表)及び令和元年度仙台市動物管理センター統計資料から

●第2 整備を行う診療施設の内容その他の診療施設の整備に関する目標

1 飼育動物診療施設及び主要な診療機器の整備の現状

(1) 飼育動物診療施設

県全体の300施設を開設主体別にみると、宮城県が12施設、仙台市が2施設、宮城県農業共済組合が4施設、産業動物診療施設が104施設、小動物診療施設が178施設となっています。

地域別では、仙台地域の診療施設数が県全体の半数以上を占めており、その多くは小動物診療で135施設となっています。

表3 開設主体別の診療施設数(平成30年12月31日現在)

地域		開設主体						
		県	市	農業共済 組合	産業動物診療		小動物診療	
					法人	個人	法人	個人
県全体	300	12	2	4	23	81	68	110
大河原	36	2	-	1	5	16	4	8
仙台	156	3	2	1	5	10	55	80
北部	61	3	-	1	10	33	1	13
東部	47	4	-	1	3	22	8	9

(2) 主要な診療機器等

県内診療施設の内、回答を得た170の診療施設で整備されている主な診療機器は表4のとおりです。

多くの診療施設で検体成分分析装置(血液生化学分析装置等)や生体画像診断機(X線装置, 超音波診断装置等)などが整備されています。

産業動物臨床分野では、往診が主体となるため、ポータブルタイプの診療機器の保有が主体となっています。また、家畜の人工授精や受精卵移植に係る機器が整備されている診療施設もあります。

小動物臨床分野には、特に仙台地域においてはCT装置やMRI装置など、高度医療に対応できる診療機器が配備されている病院もあります。また、表に示す他に、ICU装置, 歯科ユニット, 眼圧測定器, 超音波手術システムなどが整備されている診療施設もあります。

2 診療施設の整備に関する目標

各診療施設の機能に合わせ、診療及び診断技術の向上を図るとともに、疾病の予防、治療及び保健衛生指導から集団衛生管理技術及び獣医療関連情報の提供に至るまでの包括的な獣医療が提供できる体制を推進します。

(1) 家畜保健衛生所においては、畜産経営の飼養規模の拡大や口蹄疫・豚熱・高病原性鳥インフルエンザなど特定家畜伝染病も含む家畜伝染病の発生予防等に対応するため、農場段階の集団管理衛生技術の提供や事前対応型の家畜防疫体制の確立を図る必要があります。このため、病性鑑定機能及び農場のサーベイランス機能強化のために必要な施設・機器等を計画的に整備します。また、整備された施設・機器を活用して得られたデータは、産業動物の診療等のために積極的に提供します。

(2) 産業動物の一般診療施設等の整備にあたっては、過剰投資とならない範囲で、診療の効率化を図る機器等を中心とした整備を促進し、診療施設整備計画に基づく長期低利の融資制度の活用を支援します。

表 4 診療施設毎の主要検査機器保有状況

【令和2年11月調査】

地域	区分	回答数	施設の整備状況					検体成分分析装置				生体画像診断機					理化学機器	免疫・DNA診断装置					微生物関係				ET関係					
			診療室	手術室	解剖室	焼却施設	X線診療室	入院施設	血液生化学分析装置 (血球計算機込み)	クロマトグラフィー	高速液体	分光光度計	血液ガス測定装置	ファイバー スコوپ	X線撮影装置	ポータブルエコー含 超音波診断装置	心電計	CT装置	MRI装置	レーザー装置	ガス麻酔装置	ELISA装置	蛍光顕微鏡	PCR装置	DNAシーケンサー	リアルタイムPCR装置	恒温培養器	嫌気性培養装置	クリーンベンチ	安全キャビネット	マニピュレーター	マイクロ
大河原	個人開業施設(産業動物)	9	1					1		1				1												3		1				1
	個人開業施設(小動物)	6	10	5			5	7	9			2	5	4	5			3	5	0	1											
	農業共済組合	1		1					2				1	10												1	1	1				
	保健所・家保	2	1						2											1					1							
仙台	個人開業施設(産業動物)	10	3	3			2	1	5				2	7	2			1	2						1		1				2	
	個人開業施設(小動物)	79	157	74	2		71	126	120	1	4	10	34	73	77	75	2	3	32	86	1	4			8	1	1					
	農業共済組合	1		1					2	1	1	1		1	6	1				1					1	1	1				1	
	仙台市	2	2	2	1	2	1	2	1				1	1	1	1				2												
	保健所・家保	3	2	1	3	3	1	1	2	2	1			1		1				1	5	2	5	3	13		2	2				
北部	個人開業施設(産業動物)	24	3	2			1	1	3					1	4	2				2		1										
	個人開業施設(小動物)	6	8	6			6	11	9				1	6	5	5			1	4		1			1							
	農業共済組合	1		1					2						15										1	1	1					
	保健所・家保	3	1						2											1					1							
東部	個人開業施設(産業動物)	11	2	2	1		1	1	1				2	1	3	1	1		1	1					1							
	個人開業施設(小動物)	7	14	6			5	7	14				2	5	6	7	1		1	7					1							
	農業共済組合	1		1					2					1	15										1	1	1					
	保健所・家保	4	2						2											1					1							
合計		170	206	105	7	5	93	157	179	4	7	11	42	98	154	100	4	3	39	110	10	9	5	0	3	35	5	9	2	0	4	

●第3 獣医師の確保に関する目標

1 獣医師の確保目標

小動物臨床分野においては、安定的に人材が確保されているものの、畜産分野においては、産業動物分野へ就業を希望する獣医学生が少なく、獣医師の高齢化や恒常的な人材不足の状況が続いています。

その一方で、一戸あたりの家畜の飼養規模は拡大しており、生産基盤の強化や複雑化・多様化した家畜疾病への対応、家畜伝染病の大規模な発生に対する危機管理体制の再点検・強化等の課題に対処するための人材の確保が喫緊の課題となっています。このため、今後の獣医療を提供する体制の整備を推進するに当たっては、特に、産業動物獣医師と公務員獣医師の確保について、以下のように計画的に推進していきます。

(1) 産業動物診療獣医師

産業動物の診療獣医師は平成30年12月31日時点で120人(宮城県農業共済組合の獣医師42人、民間の獣医師78人)です。このうち、61歳以上の獣医師数は50人となっており、全体の約4割を占めます。また、主に牛を診療する獣医師は105人、豚を診療する獣医師は7人、鶏を診療する獣医師は3人、馬を診療する獣医師は5人となっています。

表5 年代別産業動物診療獣医師数(平成30年12月31日時点 獣医師法第22条の届出)

	～30歳	31～40歳	41～50歳	51～60歳	61歳～	総数
県全体	15	17	12	26	50	120
うち女性獣医師数	6	9	0	3	0	18
NOSAI獣医師	12	10	2	15	3	42
うち女性獣医師数	4	6	0	1	0	11
大河原地域	1	3	0	3	2	9
うち女性獣医師数	0	1	0	0	0	1
仙台地域	1	1	0	3	1	6
うち女性獣医師数	1	1	0	0	0	2
北部地域	4	2	1	5	0	12
うち女性獣医師数	0	1	0	1	0	2
東部地域	6	4	1	4	0	15
うち女性獣医師数	3	3	0	0	0	6
民間獣医師	3	7	10	11	47	78
うち女性獣医師数	2	3	0	2	0	7
大河原地域	0	0	2	3	8 (うち豚2)	13
うち女性獣医師数	0	0	0	1	0	1
仙台地域	2 (うち馬1)	4 (うち馬2)	3 (うち馬1)	2 (うち豚1)	5 (うち豚1,鶏1)	16
うち女性獣医師数	1	1	0	0	0	2
北部地域	1 (うち鶏1)	1	3 (うち鶏1)	4 (うち豚2)	22 (うち馬1,豚1)	31
うち女性獣医師数	1	0	0	1	0	2
東部地域	0	2	2	2	12	18
うち女性獣医師数	0	2	0	0	0	2

(括弧内は、その内の豚・鶏・馬専門獣医師数)

①牛の臨床獣医師数

県内の乳牛及び肉牛の飼養頭数合計は、平成31年2月1日時点においては約95,000頭となっています。一人あたりの平均年間診療頭数は、令和元年度の宮城県農業共済組合の家畜診療センターのデータから約2,000頭となっています。しかしながら、これは休日勤務や夜間深夜の時間外勤務を組み入れた上での実績であり、近年、医療現場における長時間労働が問題となっていることから、働き方改革を考慮して、現状で週1日程度となっている実質的な休日を週2日とした場合、8割程度の年間約1,600頭を一人あたりの平均年間診療頭数の基準とすることが望ましいと考えられます。これらをもとに、県内約95,000頭の牛について1頭あたり年2回受診すると仮定すると、県内の飼養牛を診療するために必要な獣医師数は119人で、表6で示すように現状の105人では不足していると考えられます。

また、40歳以下の獣医師のうち、女性獣医師の割合は約半数と増加しており、出産や育児による休業を余儀なくされる期間があること、また、60歳以降は男女ともに加齢に伴う体力の衰えなど、様々なライフステージを考慮した上で、必要な人員が確保できているかを判断する必要があります。さらに、現在、61歳以上の獣医師が44人と全体の4割を占めており、牛の飼養頭数が現状と同程度で推移した場合、10年後に獣医師数が不足することが予想されます。

そこで、年代毎に診療可能頭数を表7のように設定し、今後10年間で必要な獣医師数を試算すると、20代の若年層が現在とほぼ同数確保できたとしても、さらに41人程度を計画的に確保していくことが望まれます。

表6 現状の臨床獣医師数(牛)

年齢区分	～30歳	31～40歳	41～50歳	51～60歳	61歳～	総数
県全体	13	15	10	23	44	105
うち女性獣医師数	5	9	0	2	0	16



表7 10年後の臨床獣医師数(牛)

年齢区分	～30歳	31～40歳	41～50歳	51～60歳	61～70歳	71歳～	確保必要人員	総数 (必要獣医師数)
県全体	14	13	15	10	23	15	41	131
うち女性獣医師数	7	5	9	0	2	0		
一人あたり平均年間診療可能頭数	1,600	1,440(男) 800(女)	1,760(男) 1,280(女)	1,760	1,440(男) 1,280(女)	960	1,600	1,450
年間診療頭数	22,400	15,520	22,080	17,600	32,800	14,400	65,200	190,000

※【算定にあたっての考え方】

- i) 30代の内、出産・育児による休業等から女性は診療可能頭数を5割、男性は育児参加を考慮して9割とする。また、近年40代前半の女性も同様の条件を考慮する必要があることから、診療可能頭数を8割とする。
- ii) 40代前半の女性は出産・育児休業を考慮する必要があるため、診療可能頭数を8割とする。
- iii) 40～50代男性と50代女性は技術・知識ともに円熟していることから、20代に比べ1.1倍の頭数をこなせるものとする。
- iv) 60～70代は体力面を考慮し、診療可能頭数を9～6割とする。
- v) 70代は現在の60歳以上のうち1/3が現役として残るものとする。

②養豚の臨床獣医師数

宮城県内の養豚場は、個人経営の中小規模の農場が多い傾向にあります。毎年後継者不足等から、その戸数は減少しています。養豚臨床獣医師においては、衛生・生産管理を一体的に指導するコンサルティング業務が主体となっており、広域診療を行う獣医師も多く、本県にもこうした県外獣医師の診療を受けている農場も少数ではあるが存在しています。

本県では、令和2年10月から豚熱ワクチン接種が開始され、計画的なワクチン接種を推進するために、養豚臨床獣医師の確保が急務となっています。

農場訪問にあたっては、家畜伝染病のまん延防止を考慮すると、獣医師が訪問できる農場は、原則1日1か所が望ましく、1農場あたり少なくとも月2回の接種を進めていく場合、一人の獣医師が担当できる農場は10農場が上限と考えられます。10年後の豚飼養農場を、現在の154戸から120戸に減少すると仮定した場合、必要獣医師数は12人以上となります。現状、養豚を専門としている臨床獣医師数は7人で、うち、61歳以上は4人となっています。今後不足していく9人については、県外獣医師の活用を含めた安定的確保を推進します。

③養鶏の臨床獣医師数

日本の生産体制においては、肉用鶏と採卵鶏は大きくシステムが異なります。宮城県内においては、肉用鶏の生産はインテグレーションシステムを軸としており、県内には5社程度が各農場を管理し、多くは会社に管理獣医師が配属されています。採卵鶏の場合は、企業養鶏と個人経営が混在していますが、臨床獣医師においては、肉用鶏、採卵鶏いずれにおいても、農場での衛生管理の指導を主体とした業務となっているため、広域診療を行う獣医師もいます。

農場訪問にあたっては、疾病のまん延防止の観点から訪問農場数を1日1か所程度とする必要があります。1農場あたり月1回程度巡回できる体制とした場合、週休2日を考慮しても、肉用鶏50農場(5社)に対して5人、採卵鶏70農場に対して4人の計9人が必要な獣医師数と考えられます。現状、養鶏を専門としている臨床獣医師は3人であり、うち61歳以上は1人となっています。現在129ある農場が、10年後に120農場になると仮定しても、今後7人を県外獣医師の活用も含めて安定的な確保を推進します。

(2)公務員獣医師

公務員分野の獣医師は、令和2年4月1日時点で県職員は134人で、仙台市職員は58人です。このうち、51歳以上の職員は県では53人、市では13人となっています。また、分野別に見ると、公衆衛生分野では県職員が79人、仙台市職員は58人で、農林水産分野では県職員の55人のみとなっています。

本県では、全職員の約4割が女性獣医師となっていますが、50歳以下の職員をみると、約6割を占めており、女性職員が増加しています。また、仙台市では、全職員の約6割が女性獣医師となっています。

公務員獣医師においては、近年、高病原性鳥インフルエンザや豚熱などの特定家畜伝染病発生対応や防疫体制の構築、各農場への飼養衛生管理基準の指導、豚熱ワクチン接種など、農林水産分野に所属する家畜防疫員の役割が増大しています。その一方で、現場の慢性的な人手不足が続いており、人材の確保が緊急の課題となっています。特に、女性の比率は年々高くなっており、出産等の休業や男女ともに育児休業等の取得を推進した場合でも、十分な獣医師数を維持する必要があります。今後も、特に農林水産分野における定数増や業務体制の整備等の検討を含め、必要な職員数を計画的に確保できるよう推進します。

表 8 年代別公務員獣医師数(令和 2 年 4 月 1 日現在)

	～30 歳	31～40 歳	41～50 歳	51～60 歳	61 歳～	総数
県・合計	20	26	35	38	15	134
うち女性獣医師数	11	12	17	7	2	49
農林水産分野	14	8	15	14	4	55
うち女性獣医師数	7	5	6	1	0	19
本庁	0	1	4	3	0	8
うち女性獣医師数	0	1	3	0	0	4
家畜保健衛生所	13	6	9	9	4	41
うち女性獣医師数	6	3	2	1	0	12
その他(研究所等)	1	1	2	2	0	6
うち女性獣医師数	1	1	1	0	0	3
公衆衛生分野	6	18	20	24	11	79
うち女性獣医師数	4	7	11	6	2	30
仙台市(公衆衛生分野)・合計	5	23	17	12	1	58
うち女性獣医師数	3	14	12	5	0	34

(3)小動物臨床獣医師

小動物の診療獣医師は、安定的に人材が確保されているものの、特に仙台市など都市部にその人員が集中しています。飼養頭数に対する獣医師数、または診療施設数をみても、仙台地域は、他地域に比べ約 2 倍となっており、適切な飼育知識や獣医療を提供していくためには、地域格差を減らしていく対策が必要となっています。

表 9 年代別小動物臨床獣医師数(平成 30 年 12 月 31 日時点 獣医師法第 22 条の届出)

	～30 歳	31～40 歳	41～50 歳	51～60 歳	61 歳～	総数	診療所	
県全体	35	50	70	48	54	257	178	
うち女性獣医師数	21	23	25	10	6	85		
地域別	大河原地域	1	4	7	4	3	19	12
	うち女性獣医師数	0	1	2	0	0	3	
	仙台地域	31	43	55	30	37	196	135
	うち女性獣医師数	19	22	21	7	4	73	
	北部地域	0	1	3	7	8	19	14
	うち女性獣医師数	0	0	1	2	2	5	
	東部地域	3	2	5	7	6	23	17
うち女性獣医師数	2	0	1	1	0	4		

2 獣医師の確保対策

今後、獣医師の不足が見込まれる分野については、関係者と一体となって、以下の取組により計画的に推進します。

(1) 獣医学生等に対する就業支援

- ① 獣医学生が産業動物診療や家畜衛生・公衆衛生業務等の理解を深められるよう、宮城県農業共済組合

や県機関(家畜保健衛生所, 食肉衛生検査所等)において, 臨床実習やインターンシップの受入れ等を積極的に行うとともに, 獣医学生が参加しやすい条件を整備します。

- ② 獣医系大学生に対し, 国の産業動物獣医師修学資金についてPR活動を強化し, その活用を促進します。
- ③ 高校生等を対象に, 県獣医師会や市獣医師会等と協力して, 獣医師の職業に興味をもてるよう, その役割, 職場を紹介する説明会を開催するとともに, 義務教育課程の児童・生徒への食育や職業教育での取組を展開します。

(2) 就業環境の改善

- ① 産業動物分野や公務員分野において, 女性獣医師の占める割合が, 今後も高くなっていくことが予想されることから, 女性獣医師の定着を図るため, 女性が継続的に就業できる環境づくりを推進します。
- ② 雇用者に対し獣医師の過重労働を回避するための体制整備や人員確保等を求めるとともに, 男女ともに産休・育休を取得しやすい環境作り等, 働き方改革に対応した職場環境の整備を推進します。
- ③ 定年退職後も就業意欲を有する獣医師のニーズに対応するなど, 様々な世代やライフステージの獣医師が活躍できる環境の整備を推進します。

(3) 獣医師確保対策実施体制の整備等

- ① 獣医師の確保について, 県獣医師会や市獣医師会をはじめとした関係団体と連携し, 具体的な方策の検討や対策の推進を図ります。
- ② 出産等による一時的な休職や育児期間中の勤務時間の制限に対応した人的支援, 離職中の獣医師の産業動物分野及び公務員分野への復職支援を行うため, 県獣医師会や市獣医師会等と連携し, 人材を確保するための体制整備に努めます。
- ③ 口蹄疫, 豚熱, 高病原性鳥インフルエンザ等の特定家畜伝染病が発生した場合のまん延防止に係る防疫対応や緊急的ワクチン接種等に備え, 宮城県農業共済組合, 県獣医師会, 市獣医師会, 一般社団法人宮城県畜産協会(以下、県畜産協会)等と連携して, 民間獣医師も含めた防疫体制構築のための体制整備を行います。

●第4 相互の機能及び業務の連携を行う施設の内容及びその方針

1 組織的な家畜防疫体制の確立

家畜保健衛生所は、地域防疫の拠点機関として、市町村、宮城県農業共済組合、農業協同組合、県獣医師会、県畜産協会、畜産関係団体、民間診療施設の家畜防疫員及び生産者等と連携し、組織的に機能するよう、事前対応型の家畜防疫体制の確立を図ります。

- (1) 家畜伝染病の発生防止や慢性疾病の除去等を図るため、宮城県農業共済組合、農業協同組合及び産業動物獣医師と協力し、病性鑑定や疫学調査などのサーベイランス体制を強化します。また、農場での疾病発生に伴う農場消毒や衛生指導についても連携して実施していきます。
- (2) 口蹄疫、豚熱及び高病原性鳥インフルエンザなど家畜伝染病の発生時に備え、特定家畜伝染病にかかる宮城県マニュアル(「宮城県特定家畜伝染病対策本部設置運営マニュアル」,「宮城県特定家畜伝染病対策本部現地地域支部設置運営マニュアル」,「宮城県口蹄疫防疫マニュアル」,「宮城県豚熱・アフリカ豚熱防疫マニュアル」,「宮城県高病原性鳥インフルエンザ防疫マニュアル」等)に基づき、疑似患畜等の殺処分・焼埋却、消毒など初動防疫措置が迅速に実施されるよう、殺処分した家畜の埋却地の調整や防疫演習等を定期的に実施します。また、県は常時、初動防疫措置に必要な消毒薬、資材等を備蓄します。
- (3) 国内外における家畜伝染病の発生状況、防疫対策に関する情報は、市町村、畜産関係団体及び生産者等に対し、迅速に提供し、家畜防疫に対する意識を高めていきます。
- (4) 農場段階での集団管理衛生技術の提供、農場 HACCP や畜産 GAP の導入・普及を推進します。

2 診療施設・診療機器の効率的利用

産業動物の獣医療に携わる機関・団体に対し、研修会等を通じてそれぞれが整備している診療施設・検査機器について情報共有を図るとともに、相互利用等を推進します。

3 獣医療情報の提供システムの整備

産業動物の獣医療に携わる機関・団体が有する臨床データや衛生検査成績、食肉衛生検査成績等の情報について、研究会の開催やデータベース化など相互に利用しやすい体制の整備を推進します。

4 診療効率の低い地域に対する診療の提供

今後、産業動物においては獣医療の提供が困難となる地域にあつては、宮城県農業共済組合等の獣医療関係者間の意見調整を図った上で、近隣の診療施設等による診療体制の整備や遠隔診療の取組等を検討していきます。

小動物においては、仙台市近郊とそれ以外の地域での診療提供格差を軽減していけるよう、県獣医師会及び市獣医師会を中心とした、チーム獣医療の提供体制整備を検討していきます。

5 産学官が連携した研究開発

One-Healthの考え方にに基づき、獣医療に係る研究・技術開発のため、産官学の連携による取組を推進するとともに、研究による知見及び技術の普及を図ります。

●第5 診療上必要な技術の研修の実施その他の獣医療に関する技術の向上に関する事項

1 臨床研修

- (1) 臨床現場における実践的獣医療技術、法令、食品のリスク管理、家畜伝染病発生時の防疫措置を含む家畜衛生、公衆衛生、畜産・食品関連産業等に関する知識・技術の修得を図るため、家畜保健衛生所、宮城県農業共済組合、県獣医師会及び市獣医師会等と連携しながら、新規獣医師のうち臨床分野に従事する者及び診療体制構築のために卒後臨床教育を必要とする者を対象とした臨床研修への参加の促進を図ります。
- (2) 公務員分野においては、家畜衛生、公衆衛生及び動物愛護管理等の行政に携わっていく上で必要な知識・技術及び畜産関連産業等の知識・経験の修得を目的として実施される技術研修、講習会等への参加の促進を図ります。また、飼養衛生管理基準の指導や防疫措置の円滑な実施のため、家畜保健衛生所のみならず、産業動物診療獣医師、農林水産分野以外の公務員獣医師等も対象とした研修会の開催を行っていきます。

2 高度研修

- (1) 産業動物臨床分野や公務員分野においては、国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構動物衛生研究部門等において開催される講習会を通じて、地域における獣医療技術普及の担い手となる指導者の養成を図るとともに、当該指導者による県内獣医師への技術指導等を計画的に行い、獣医師の技術の向上を図っていきます。
- (2) 小動物分野においては、専門分野別の技術の向上が今後ますます重要となることから、専門性の高い獣医療技術の修得を目的として実施される技術研修、獣医師の組織する団体等が開催する学会、研修会、講習会等への参加の促進を図ります。
- (3) 産業動物診療獣医師が最新の獣医療技術を用いた獣医療を提供していくため、農業関係団体等の施設を利用した集団衛生管理技術研修、高度診療機器による診断・治療技術等の修得を目的として実施される技術研修、獣医師の組織する団体等が開催する学会等への参加の促進を図ります。

3 地域の実情に応じた研修

水産養殖業の分野においては、水産用医薬品の適正使用を図ることが今後ますます重要となることから、地域の水産養殖業者のニーズに合わせ、知見をもった獣医師の育成を推進します。

4 生涯研修等

臨床獣医師が、日進月歩する獣医療技術及び海外悪性伝染病、新興・再興感染症等に関する知識・技術を適時適切に取り入れることにより、社会的ニーズに対応した獣医療を提供していくため、獣医師の組織する団体等が開催する研修会等への参加や当該団体等が提供する教材等の利用の促進を図ります。

●第6 その他獣医療を提供する体制の整備に関し必要な事項

1 行政分野において適切に獣医療が提供できる体制の整備

- (1) 獣医療の各分野において、獣医師に対する社会的ニーズや果たすべき責任、生産者等から期待される獣医療の水準などの把握に努め、関係機関及び団体と共有するとともに獣医療提供体制整備の推進に反映します。
- (2) 獣医師のコンプライアンスの徹底や食品のリスク管理等に関する社会的要請を踏まえ、獣医療に対する監視指導体制の整備、獣医療に関する相談窓口の明確化等を行います。

2 飼育者の衛生知識の啓発・普及等

- (1) 産業動物分野においては、県獣医師会や県畜産協会等と連携しながら、各畜種の衛生管理者に対し、基本的な飼養管理や繁殖管理に加え、家畜伝染病予防法に基づく飼養衛生管理基準の遵守やワクチン接種などの自衛防疫、食品の安全性の確保等に関する知識等の普及啓発を図り、レベルの高い畜産経営を推進します。
- (2) 小動物分野においては、愛玩動物看護師法の成立により、獣医師の担う業務と愛玩動物看護師の担う業務の明確化を踏まえた適切な役割分担と連携を通じ、チーム獣医療体制の充実を図ります。また、宮城県動物愛護管理推進計画に基づき、人と動物が共生できる社会づくりを推進するため、県獣医師会及び市獣医師会等と連携しながら、小動物の飼育者に対し、小動物の健康管理のための衛生知識の普及啓発・相談活動や人獣共通感染症予防に関する情報の提供等を行います。

3 広報活動の充実

医療や食品の安全性に対する県民の信頼を高めるため、獣医療に関わる機関・団体は、ホームページや広報誌など広報媒体やアニマルフェスティバルなどのイベント開催を通じ、獣医療の果たす役割に関する県民への理解醸成を推進します。

4 診療施設の整備

本計画及び診療施設整備計画に基づき診療施設の整備を推進する場合、株式会社日本政策金融公庫からの農林漁業施設資金の融資の活用を支援します。

5 その他

計画の達成を図るため、計画策定から5年以内を取組状況や達成状況を把握し、必要な場合には取組内容の見直しを検討します。

參考資料

【飼育動物の飼養状況(飼育動物別の飼養戸数、飼養頭羽数及び1戸当たり平均頭羽数)】

	平成30年			令和元年			令和2年			備考
	飼養戸数	飼養頭羽数	1戸あたり平均頭羽数	飼養戸数	飼養頭羽数	1戸あたり平均頭羽数	飼養戸数	飼養頭羽数	1戸あたり平均頭羽数	
県全体										
乳用牛	493	19,832	40.2	464	20,230	43.6	452	19,272	42.6	
大河原地域	131	6,790	51.8	125	7,813	62.5	127	6,862	54.0	
仙台地域	43	1,717	39.9	44	1,606	36.5	42	1,574	37.5	
北部地域	219	7,653	34.9	201	7,300	36.3	189	7,314	38.7	
東部地域	100	3,672	36.7	94	3,511	37.4	94	3,522	37.5	
肉用牛	2,953	77,454	26.2	2,795	75,544	27	2,857	80,414	28.1	
大河原地域	231	14,042	60.8	228	13,786	60	221	15,862	71.8	
仙台地域	170	4,276	25.2	162	4,448	27	152	3,941	25.9	
北部地域	1,477	24,263	16.4	1,379	22,274	16	1,494	25,878	17.3	
東部地域	1,075	34,873	32.4	1,026	35,036	34	990	34,733	35	
豚	154	198,678	1,290.1	154	198,293	1,288	149	199,226	1,337	
大河原地域	20	51,195	2,559.8	17	51,723	3,043	18	54,213	3,012	
仙台地域	8	599	74.9	9	331	37	9	278	31	
北部地域	61	80,124	1,313.5	64	81,239	1,269	69	78,837	1,143	
東部地域	65	66,760	1,027.1	64	65,000	1,016	53	65,898	1,243	
採卵鶏	79	4,710,240	59,623.3	73	4,709,910	64,519	72	4,653,050	64,626	
大河原地域	33	805,761	24,417.0	31	753,612	24,310	31	732,347	23,624	
仙台地域	14	414,495	29,606.8	15	456,527	30,435	13	219,873	16,913	
北部地域	24	3,452,672	143,861.3	20	3,464,566	173,228	23	3,666,398	159,409	
東部地域	8	37,312	4,664.0	7	35,205	5,029	5	34,432	6,886	
肉用鶏	56	2,116,207	37,789.4	56	2,093,637	37,386	55	2,132,117	38,766	
大河原地域	14	374,507	26,750.5	14	383,837	27,417	13	354,817	27,294	
仙台地域	5	416,200	83,240.0	4	410,500	102,625	4	422,500	105,625	
北部地域	13	639,500	49,192.3	13	617,100	47,469	13	607,300	46,715	
東部地域	24	686,000	28,583.3	25	682,200	27,288	25	747,500	29,900	
犬		116,412			113,069			42,335		
大河原地域		11,280			10,855			10,739		
仙台地域		71,836			70,352			24,067 (仙台市分含まず)		
北部地域		15,603			14,884			14,734		
東部地域		17,693			16,978			16,862		

※家畜の飼養頭羽数:家畜伝染病予防法第12条の4に基づく定期報告から(平成30年2月1日時点)

※犬の頭数:宮城県動物管理関係統計資料(令和2年3月31日)及び令和元年度仙台市動物管理センター統計資料

【飼育動物の疾病発生等の状況(飼育動物別及び疾病別の死亡率、廃用率等)】

家畜共済加入畜に係る病傷事故件数(平成29年度、30年度、令和元年度)

(家畜共済病傷病類別集計より)

<乳用牛>

No	病類別	件数		
		平成29年度	平成30年度	令和元年度
1	循環器病	143	148	192
2	血液及び造血器病	3	1	4
3	呼吸器病	643	644	521
4	消化器病	2,253	2,198	1,824
5	泌尿器病	17	30	18
6	生殖器病	4,115	4,213	4,382
7	泌乳器病	2,177	2,031	1,910
8	妊娠・分娩期及び産後の疾患	1,926	1,928	1,897
9	新生子異常	276	300	110
10	神経系病	5	3	5.0
11	感覚器(眼、耳)病	9	5	13.0
12	内分泌及び代謝疾患	405	407	408.0
13	運動器病	849	907	875.0
14	皮膚病	69	82	67.0
15	中毒	0	0	0.0
16	ウイルス病	12	12	14.0
17	細菌・真菌病	27	11	22.0
18	原虫・寄生虫病	3	1	1.0
19	外傷不慮その他	61	86	101.0
計		12,993	13,007	12,364.0

<肉用牛>

No	病類別	件数		
		平成29年度	平成30年度	令和元年度
1	循環器病	121	106	104
2	血液及び造血器病	1	2	2
3	呼吸器病	9,031	9,992	8,596
4	消化器病	12,403	12,306	12,471
5	泌尿器病	248	192	213
6	生殖器病	6,831	6,903	6,705
7	泌乳器病	18		17
8	妊娠・分娩期及び産後の疾患	2,238	2,280	2,601
9	新生子異常	1,072	1,105	1,097
10	神経系病	23	21	20
11	感覚器(眼、耳)病	114	144	96
12	内分泌及び代謝疾患	41	25	26
13	運動器病	820	836	798
14	皮膚病	280	286	280
15	中毒	0	2	0
16	ウイルス病	15	18	27
17	細菌・真菌病	113	81	69
18	原虫・寄生虫病	17	15	16
19	外傷不慮その他	240	234	272
計		33,626	34,548	33,410

<種雄牛>

No	病類別	件数		
		平成29年度	平成30年度	令和元年度
1	循環器病	0	0	0
2	血液及び造血器病	0	0	0
3	呼吸器病	1	2	0
4	消化器病	2	2	1
5	泌尿器病	0	0	0
6	生殖器病	0	0	0
7	泌乳器病	0	0	0
8	妊娠・分娩期及び産後の疾患	0	0	0
9	新生子異常	0	0	0
10	神経系病	0	0	0
11	感覚器(眼、耳)病	0	0	0
12	内分泌及び代謝疾患	0	0	0
13	運動器病	4	0	1
14	皮膚病	0	0	0
15	中毒	0	0	0
16	ウイルス病	0	0	0
17	細菌・真菌病	0	0	0
18	原虫・寄生虫病	0	0	0
19	外傷不慮その他	0	0	0
計		7	4	2

<豚>

No	病類別	件数		
		平成29年度	平成30年度	令和元年度
1	循環器病	0	0	1
2	血液及び造血器病	0	0	0
3	呼吸器病	5	7	1
4	消化器病	1	2	0
5	泌尿器病	0	0	0
6	生殖器病	12	2	0
7	泌乳器病	0	0	0
8	妊娠・分娩期及び産後の疾患	5	0	1
9	新生子異常	0	0	0
10	神経系病	0	0	0
11	感覚器(眼、耳)病	0	0	0
12	内分泌及び代謝疾患	0	0	0
13	運動器病	0	1	1
14	皮膚病	0	1	0
15	中毒	0	0	0
16	ウイルス病	0	0	0
17	細菌・真菌病	0	0	0
18	原虫・寄生虫病	0	0	0
19	外傷不慮その他	1	0	0
計		24	13	4

【飼育動物の疾病発生等の状況(と畜場及び食鳥処理場における廃棄数、廃棄の要因等)】

※宮城県食肉衛生検査所 平成29年度～令和元年度事業概要より
 ※仙台市食肉衛生検査所 平成29年度～令和元年度事業概要より

		廃棄数												備考
		宮城県食肉衛生検査所						仙台市食肉衛生検査所						
		H29		H30		R01		H29		H30		R01		
		一部廃棄	全部廃棄	一部廃棄	全部廃棄	一部廃棄	全部廃棄	一部廃棄	全部廃棄	一部廃棄	全部廃棄	一部廃棄	全部廃棄	
牛	出荷計													
	廃棄合計	3,856	4	4,155	1	3,289	7	11,672	304	10,699	301	10,466	312	
	伝染性リンパ腫(牛白血病)	0	0	0	0	0	3		64		85		93	
	放線菌病	0	0	1	0	0	0	41		25		45		
	ジストマ病	2	0	1	0	1	0	12		5		5		
	寄生虫病その他	0	0	0	0	1	0	1		1				
	膿毒症	0	1	0	0	0	0		36		43		48	
	敗血症	0	0	0.0	0	0	0		58		32		19	
	尿毒症	0	1	0.0	0	0	0		12		9		5	
	黄疸および水腫	111	0	95.0	1	57	2	922	126	980	125	1,007	141	
	腫瘍	3	0	2.0	0	2	1	3	7	6	6	8	6	
	炎症又は炎症産物による汚染	2,516	2	2,609.0	0	2,162	1	7,871	1	6,838	1	6,596		
	変性又は萎縮	839	0	932.0	0	709	0	1,696		1,654		1,757		
その他(その他細菌病含む)	385	0	515.0	0	357	0	1,126		1,190		1,048			
豚	出荷計													
	廃棄合計	206,739	215	175,807.0	2	173,929	241	33,720	125	39,390	158	43,381	147	
	豚丹毒	0	15	0.0	40	0	52		4		5		2	
	豚赤痢	0	30	0.0	10	0	5							
	放線菌病	0	0	0.0	0	0	0							
	ジストマ病	0	0	0.0	0	0	0							
	寄生虫病その他	18,711	0	18,472.0	0	15,599	0	11,044		14,428		13,121		
	膿毒症	0	71	0.0	44	0	75		53		51		58	
	敗血症	0	43	0	82	0	62		51		79		49	
	尿毒症	0	0	0	1	0	0							
	黄疸および水腫	2,234	5	1,434	4	1,544	4	898	10		15	1,298	31	
	腫瘍(白血病含む)	13	11	15	16	7	15	1		6		4	2	
	炎症又は炎症産物による汚染	161,327	8	135,325	11	135,948	12	17,786	5	19,799	4	22,527	5	
変性又は萎縮	16,201	31	13,179	33	13,249	16	1,703		2,069		2,431			
その他(その他細菌病含む)	8,253		7,382	0	7,582	0	2,288	2	3,088	4	4,000			
鶏	出荷計													
	廃棄合計	36,012	118,126	46,042	111,895	62,198	152,398							
	消瘦・発育不良	0	29,202	0	30,275	0	31,091							
	放血不良	0	3,487	0	1,589	0	4,450							
	出血	16,178	9,097	18,273	9,304	35,150	12,860							
	外傷	0	4,503	21	3,078	21	2,659							
	炎症	19,834	54,576	27,748	48,824	27,023	72,433							
	水腫	0	15	0	4	4	59							
	腫瘍	0	1	0	0	0	11							
	腹水症	0	4,368	0	9,307	0	14,256							
	変性	0	12,075	0	7,912	0	12,544							
	萎縮	0	11	0	14	0	0							
	マレック病	0	0	0	0	0	0							
その他	0	791	0	1,588	0	2,035								

宮城県食肉衛生検査所 平成29年度～令和元年度事業概要より
 仙台市食肉衛生検査所 平成29年度～令和元年度事業概要より

【開設主体別及び診療対象飼育動物別の診療施設の開設状況並びに獣医師法(昭和24年法律第186号)第16条の2第1項に規定する農林水産大臣が指定する診療施設(以下「大臣指定診療施設」)の状況】

H30.12.31時点

	産業動物	乳用牛	肉用牛	豚	採卵鶏	肉用鶏	その他	小動物	備考
県全体	91	97	98	28	10	11	9	186	
うち大臣指定診療施設		4	4	0	0	0	0	0	
都道府県(家保等)	6	6	6	6	6	6	6	6	
うち大臣指定診療施設		0	0	0	0	0	0	0	
大河原地域	1	1	1	1	1	1	1	1	家保・保健所
うち大臣指定診療施設									
仙台地域	1	1	1	1	1	1	1	2	家保・保健所・愛護センター
うち大臣指定診療施設									
北部地域	2	2	2	2	2	2	2	1	家保・畜振・保健所
うち大臣指定診療施設									
東部地域	2	2	2	2	2	2	2	2	家保・畜振・保健所
うち大臣指定診療施設									
市町村		0	0	0	0	0	0	2	
うち大臣指定診療施設		0	0	0	0	0	0	0	
大河原地域									
うち大臣指定診療施設									
仙台地域								2	動管・動物園
うち大臣指定診療施設									
北部地域									
うち大臣指定診療施設									
東部地域									
うち大臣指定診療施設									
農業共済組合	4	4	4	0	0	0	0	0	
うち大臣指定診療施設		4	4	0	0	0	0	0	
大河原地域	1	1	1						
うち大臣指定診療施設		1	1						
仙台地域	1	1	1						
うち大臣指定診療施設		1	1						
北部地域	1	1	1						
うち大臣指定診療施設		1	1						
東部地域	1	1	1						
うち大臣指定診療施設		1	1						
その他法人(産業動物)		11	12	13	3	4	2	0	
うち大臣指定診療施設		0	0	0	0	0	0	0	
大河原地域	5	1	2	3					
うち大臣指定診療施設									
仙台地域	5	3	3	3	2	2	2		
うち大臣指定診療施設									
北部地域	10	5	5	5					
うち大臣指定診療施設									
東部地域	3	2	2	2	1	2	0		
うち大臣指定診療施設									
その他法人(小動物)		0	0	0	0	0	0	68	
うち大臣指定診療施設		0	0	0	0	0	0	0	
大河原地域								4	
うち大臣指定診療施設									
仙台地域								55	
うち大臣指定診療施設									
北部地域								1	
うち大臣指定診療施設									
東部地域								8	
うち大臣指定診療施設									
個人開業施設(産業動物)	81	76	76	9	1	1	1	0	
うち大臣指定診療施設		0	0	0	0	0	0	0	
大河原地域	16	14	14	2					
うち大臣指定診療施設									
仙台地域	10	9	9	2	1	1			
うち大臣指定診療施設									
北部地域	33	32	32	3			1		
うち大臣指定診療施設									
東部地域	22	21	21	2					
うち大臣指定診療施設									
個人開業施設(小動物)		0	0	0	0	0	0	110	
うち大臣指定診療施設		0	0	0	0	0	0	0	
大河原地域								8	
うち大臣指定診療施設									
仙台地域								80	
うち大臣指定診療施設									
北部地域								13	
うち大臣指定診療施設									
東部地域								9	
うち大臣指定診療施設									

大臣指定診療施設: 獣医師法第16条の2第1項に基づく臨床研修を受講できる施設で農林水産大臣が指定する施設

【産業動物を診療対象とする診療施設の廃業状況等】

	H29	H30	R1	備考
県全体	5	2	4	
小動物診療施設	4	2	3	
産業動物診療施設	1	0	1	
都道府県(家保等)	0	0	0	
大河原地域				
仙台地域				
北部地域				
東部地域				
市町村	0	0	0	
大河原地域				
仙台地域				
北部地域				
東部地域				
農業共済組合	0	0	0	
大河原地域				
仙台地域				
北部地域				
東部地域				
農業協同組合	0	0	0	
大河原地域				
仙台地域				
北部地域				
東部地域				
その他法人(産業動物)	1	0	0	
大河原地域				
仙台地域	1			(全国和牛登録共進会)
北部地域				
東部地域				
その他法人(小動物)	0	0	0	
大河原地域				
仙台地域				
北部地域				
東部地域				
個人開業施設(産業動物)		0	1	
大河原地域				
仙台地域				
北部地域			1	
東部地域	1			
個人開業施設(小動物)	4	2	3	
大河原地域				
仙台地域	4	1	3	
北部地域		1		
東部地域				

【H30年12月31日時点 獣医師法第22条の届出概況】

届出者総数	獣医師に 従事する 総数	獣医師に従事するもの																																																					
		国家公務員										都道府県職員										市町村職員																																	
		農林畜産					公衆衛生					農林畜産					公衆衛生					農林畜産				公衆衛生				その他																									
		計	小計	行政機関	試験研究機関	検査指導機関	計	小計	行政機関	試験研究機関	検査指導機関	計	小計	行政機関	家畜保健衛生所	試験研究機関	その他	計	小計	行政機関	保健所等	試験研究機関	食衛生検査センター、食衛生検査所	その他	計	小計	行政機関	家畜診療所等	計	小計	行政機関	保健所等	食衛生検査センター、食衛生検査所	その他	計	小計	行政機関	診療施設	往診	その他															
男性/計	466	411	3	1	0	0	1	1	1	0	0	1	0	0	1	0	90	37	4	29	4	0	46	4	24	0	18	0	2	5	0	0	0	0	0	26	0	0	0	0	0	20	2	7	10	1	0	0	0	0	6	0	0	6	
20代	32	30	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9	6	0	6	0	0	3	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	3	0	1	2	0	0	0	0	0	0	0		
30代	67	65	1	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	14	3	1	2	0	0	11	1	5	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8	0	0	0	0	6	2	3	1	0	0	0	0	2	0	0	2
40代	74	73	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	15	8	1	6	1	0	6	2	1	0	3	0	0	1	0	0	0	0	0	0	5	0	0	0	0	3	0	0	2	1	0	0	0	2	0	0	2		
50代	118	116	1	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	39	17	2	12	3	0	18	1	15	0	2	0	1	3	0	0	0	0	0	7	0	0	0	0	6	0	3	3	0	0	0	1	0	0	1	0	0	1	
60代	105	88	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	12	3	0	3	0	0	8	0	3	0	5	0	0	1	0	0	0	0	3	0	0	0	0	2	0	0	2	0	0	0	1	0	0	1	0	0	1		
70代	47	35	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
80代以上	23	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
平均年齢	54.0	51.7	49.7	51.0	-	-	51.0	37	37.0	-	-	61.0	-	48.2	46.9	46.0	46.6	50.3	-	48.0	45.3	50.7	-	45.1	-	67.0	52.4	-	-	-	-	-	-	-	44.7	-	-	-	-	44.3	34.0	42.3	48.0	42.0	-	-	46.2	-	-	46.2					
女性/計	212	191	0	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	46	19	3	13	3	0	24	3	11	2	8	0	1	1	1	1	0	0	1	33	1	1	0	0	28	0	18	10	0	0	1	3	0	0	3				
20代	30	30	0	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	6	0	5	1	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
30代	64	59	0	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9	5	1	4	0	0	4	0	2	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	14	0	0	0	0	11	0	7	4	0	0	1	2	0	0	2				
40代	63	59	0	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	17	5	1	3	1	0	11	3	4	1	3	0	0	0	1	0	0	1	11	0	0	0	0	10	0	8	2	0	0	0	1	0	0	1					
50代	34	29	0	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9	1	1	0	0	0	6	0	3	0	3	0	1	1	0	0	0	0	6	1	1	0	0	5	0	1	4	0	0	0	0	0	0	0	0				
60代	19	13	0	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	2	0	1	1	0	2	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
70代	2	1	0	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
80代以上	0	0	0	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
平均年齢	42.6	41.7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	43.6	39.2	45.7	37.1	42.0	-	46.2	44.0	48.3	39.5	45.9	-	54.0	55.0	42.0	-	-	-	-	42.0	42.3	58.0	58.0	-	-	42.1	-	40.8	44.6	-	-	36.0	40.3	-	-	40.3						
計	678	602	3	1	0.0	0	1	1	1	0	0	1	0	136	56	7	42	7	0	70	7	35	2	26	0	3	6	1	0	0	1	59	1	1	0	0	48	2	25	20	1	0	1	9	0	0	9								
20代	62	60	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	16	12	0	11	1	0	4	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	4	0	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
30代	131	124	1	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	23	8	2	6	0	0	15	1	7	1	6	0	0	0	0	0	0	0	22	0	0	0	0	17	2	10	5	0	0	1	4	0	0	4								
40代	137	132	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	32	13	2	9	2	0	17	5	5	1	6	0	0	1	1	0	0	1	16	0	0	0	0	13	0	8	4	1	0	0	3	0	0	3								
50代	152	145	1	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	48	18	3	12	3	0	24	1	18	0	5	0	2	4	0	0	0	13	1	1	0	0	11	0	4	7	0	0	0	1	0	0	1									
60代	124	101	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	16	5	0	4	1	0	10	0	5	0	5	0	0	1	0	0	0	4	0	0	0	3	0	1	2	0	0	0	1	0	0	1										
70代	49	36	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0						
80代以上	23	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
平均年齢	50.4	48.5	49.7	51.0	-	-	51.0	37.0	37.0	-	-	61.0	-	46.7	44.3	45.9	43.6	46.7	-	47.4	44.7	49.9	39.5	45.3	-	62.7	52.8	42.0	-	-	-	-	42.0	43.4	58.0	58.0	-	-	43.0	34.0	41.2	46.3	42.0	-	-	36.0	44.2	-	-	44.2					

獣医師に従事するもの

計	民間団体職員																				民間団体職員																															
	農業協同組合					農業共済組合					飼料・製薬等企業					独立行政法人					競馬関係					私立学校					社団・財団法人																					
	診療		その他	診療		その他	試験研究	診療		製薬	飼料	その他	診療		試験研究	その他	獣医系大学		その他の大学教官	診療		その他	開設者		被雇用者		診療	教員	その他	試験研究	その他																					
	施設	往診		施設	往診			施設	往診				施設	往診			施設	往診		施設	往診		施設	往診	施設	往診						施設	往診	施設	往診	施設	往診	施設	往診	施設	往診											
男性/計	61	2	0	0	2	32	13	18	1	13	0	3	2	0	1	7	3	0	0	0	0	0	0	1	1	0	2	4	3	2	0	1	1	1	0	0	0	0	2	0	0	0	0	2	4	0	4	1				
20代	8	0	0	0	0	7	1	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0							
30代	9	0	0	0	0	6	2	3	1	1	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0						
40代	7	0	0	0	0	2	0	2	0	2	0	0	1	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0					
50代	19	1	0	0	1	13	8	5	0	4	0	1	0	0	0	3	1	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
60代	14	1	0	0	1	4	2	2	0	4	0	0	0	0	0	1	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	3	0	3	1	0	0					
70代	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
80代以上	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
平均年齢	51.2	60.5	-	-	60.5	46.0	51.6	42.4	39.0	58.6	-	55.7	61.5	-	67.0	57.9	46.7	-	-	-	-	-	58.0	58.0	41.0	46.8	37.0	41.5	-	28.0	76.0	76.0	-	-	-	57.0	-	-	-	57.0	65.8	-	65.8	65.0	-	-	-					
女性/計	20	0	0	0	0	11	1	10	0	4	0	1	0	0	0	3	1	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
20代	4	0	0	0	0	3	0	3	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
30代	7	0	0	0	0	6	1	5	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
40代	5	0	0	0	0	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
50代	3	0	0	0	0	1	0	1	0	2	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
60代	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
70代	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
80代以上	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
平均年齢	40.2	-	-	-	-	34.3	33.0	34.4	-	46.3	-	28.0	-	-	-	52.3	31.0	-	-	-	-	-	31.0	-	31.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	54.7	-	-	-	54.7	46.0	-	46.0	-	-	-	-					
計	81	2	0	0	2	43	14	28	1	17	0	4	2	0	1	10	4	0	0	0	0	0	2	1	1	2	4	3	2	0	1	1	1	0	0	0	5	0	0	0	5	5	0	5	1	-	-	-				
20代	12	0	0	0	0	10	1	9	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
30代	16	0	0	0	0	12	3	8	1	1	0	1	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	1	0	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
40代	12	0	0	0	0	3	0	3	0	3	0	0	1	0	0	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
50代	22	1	0	0	1	14	8	6	0	6	0	1	0	0	0	5	1	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
60代	15	1	0	0	1	4	2	2	0	4	0	0	0	0	1	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
70代	4	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
80代以上	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
平均年齢	48.5	60.5	-	-	60.5	43.0	50.3	39.5	39.0	55.7	-	48.8	61.5	-	67.0	56.2	42.8	-	-	-	-	-	44.5	58.0	31.0	41.0	46.8	37.0	41.5	-	28.0	76.0	76.0	-	-	-	55.6	-	-	-	55.6	61.8	-	61.8	65.0	-	-	-				

獣医事に従事するもの																				獣医事に 従事しない 者	
個人診療施設(診療主体の企業を含む)																		その他			
産業動物						犬猫				その他の動物				大 学 院 生 等	そ の 他	そ の 他	無 職				
小 計	小 計	開設者		被雇用者		小 計	開設者		被雇用者		小 計	開設者						被雇用者		大 学 院 生 等	そ の 他
		施設	往診	施設	往診		施設	往診	施設	往診		施設	往診	施設	往診	施設	往診				
男性/計	231	59	22	35	0	2	168	117	1	50	0	4	2	0	2	0	0	0	8	47	
20代	10	0	0	0	0	0	9	0	0	9	0	1	0	0	1	0	0	0	0	2	
30代	33	2	0	1	0	1	31	7	0	24	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	
40代	46	8	4	3	0	1	37	24	0	13	0	1	0	0	1	0	0	0	0	1	
50代	50	7	2	5	0	0	43	41	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	
60代	58	29	11	18	0	0	29	27	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	3	14	
70代	30	11	5	6	0	0	17	16	0	1	0	2	2	0	0	0	0	0	2	10	
80代以上	4	2	0	2	0	0	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	18	
平均年齢	54.1	62.6	61.6	64.6	-	39.5	51.0	56.6	68.0	37.7	-	55.5	76.0	-	35.0	-	-	-	64.6	71.9	

女性/計	92	5	0	1	0	4	84	18	0	66	0	3	0	0	3	0	0	0	6	15
20代	18	1	0	0	0	1	14	0	0	14	0	3	0	0	3	0	0	0	0	0
30代	29	2	0	0	0	2	27	3	0	24	0	0	0	0	0	0	0	0	1	4
40代	26	1	0	0	0	1	25	8	0	17	0	0	0	0	0	0	0	0	1	3
50代	11	1	0	1	0	0	10	4	0	6	0	0	0	0	0	0	0	0	2	3
60代	7	0	0	0	0	0	7	3	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	2	4
70代	1	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
80代以上	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
平均年齢	40.8	37.4	-	51.0	-	34.0	41.4	49.6	-	39.2	-	28.3	-	-	28.3	-	-	-	53.0	50.1

計	323	64	22	36	0	6	252	135	1	116	0	7	2	0	5	0	0	0	14	62
20代	28	1	0	0	0	1	23	0	0	23	0	4	0	0	4	0	0	0	0	2
30代	62	4	0	1	0	3	58	10	0	48	0	0	0	0	0	0	0	0	2	5
40代	72	9	4	3	0	2	62	32	0	30	0	1	0	0	1	0	0	0	1	4
50代	61	8	2	6	0	0	53	45	0	8	0	0	0	0	0	0	0	0	3	4
60代	65	29	11	18	0	0	36	30	1	5	0	0	0	0	0	0	0	0	5	18
70代	31	11	5	6	0	0	18	16	0	2	0	2	2	0	0	0	0	0	2	11
80代以上	4	2	0	2	0	0	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	18
平均年齢	50.3	60.7	61.6	64.2	-	35.8	47.8	55.6	68.0	38.6	-	43.9	76.0	-	31.0	-	-	-	59.6	66.6

【開設主体別の臨床獣医師等の退職予定（75歳定年の場合）】

	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	備考
県全体	5	3	9	6	9	3	6	11	5	8	9	
うち女性獣医師数	1	0	0	0	0	0	0	4	0	1	1	
産業動物臨床獣医師	2	3	6	3	7	1	4	6	4	3	6	
うち女性獣医師数	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	
農業共済組合	1	3	2	0	1	0	2	3	0	0	1	* 60～65歳定年
うち女性獣医師数	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	
個人開業施設（産業動物）	1	0	4	3	6	1	2	3	4	3	5	* 75歳定年
うち女性獣医師数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
大河原地域	0	0	0	2	1	0	0	0	1	1	1	
うち女性獣医師数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
仙台地域	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	
うち女性獣医師数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
北部地域	0	0	3	1	2	0	2	3	0	1	4	
うち女性獣医師数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
東部地域	1	0	1	0	2	1	0	0	2	1	0	
うち女性獣医師数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
個人開業施設（小動物）	3	0	3	3	2	2	2	5	1	5	3	*75歳定年
うち女性獣医師数	1	0	0	0	0	0	0	2	0	1	1	
大河原地域	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	
うち女性獣医師数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
仙台地域	2	0	2	3	2	1	2	3	0	2	2	
うち女性獣医師数	1	0	0	0	0	0	0	2	0	0	1	
北部地域	0	0	0	0	0	1	0	1	0	2	0	
うち女性獣医師数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	
東部地域	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	
うち女性獣医師数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	

※平成30年12月31日時点の獣医師法第二十二條の届出より試算

【宮城県】

	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	備考
合計	5	3	0	7	0	5	0	4	0	4	0	
うち女性獣医師数	0	1	0	1	0	1	0	1	0	0	0	
農林水産分野	3	0	0	1	0	2	0	2	0	2	0	
うち女性獣医師数	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	
公衆衛生分野	2	3	0	6	0	3	0	2	0	2	0	
うち女性獣医師数	0	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0	

【仙台市】

	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	備考
合計	1	2	0	1	0	0	0	2	0	1	0	
うち女性獣医師数	0	0	0	1	0	0	0	2	0	1	0	
公衆衛生分野	1	2	0	1	0	0	0	2	0	1	0	
うち女性獣医師数	0	0	0	1	0	0	0	2	0	1	0	

【診療対象飼育動物別の管理獣医師(農場全体の衛生管理の実施・指導について農家から委任を受け診療行為等を行う獣医師をいう。)の数、活動状況等】

令和2年2月1日定期報告

	大規模戸数	NOSAI以外で管理獣医師がいる農場数	NOSAI以外の管理獣医師数	備考
県全体	55	32	20	
乳用牛	4	2	2	
大河原地域	1	0	0	内、県外獣医師1名
仙台地域	0	0	0	
北部地域	2	2	2	
東部地域	1	0	0	
肉用牛	16	2	2	
大河原地域	6	1	1	
仙台地域	0	0	0	
北部地域	1	1	1	
東部地域	9	0	0	
豚	23	20	11	
大河原地域	8	6	3.0	内、県外獣医師1
仙台地域	0	0	0.0	内、県外獣医師1名
北部地域	8	7	5.0	
東部地域	7	7	3.0	内、県外獣医師1
採卵鶏	11	7	4.0	
大河原地域	3	0	0.0	内、県外獣医師1 内、県外獣医師3名
仙台地域	1	1	1.0	
北部地域	7	6	3.0	
東部地域	0	0	0.0	
肉用鶏	1	1	1.0	
大河原地域	0	0	0.0	
仙台地域	1	1	1.0	
北部地域	0	0	0.0	
東部地域	0	0	0.0	

【診療対象飼育動物別の平均診療時間等(宮城県農業共済組合診療センター)】

県南家畜診療センター

		H29	H30	R1
	年間診療回数(獣医師1人当たり)	1,787頭	2,072頭	1,898頭
	診療1回あたりの平均診療時間	30分	30分	30分
	診療1回あたりの平均往診時間	17.3分	20分	17.6分
	診療1回あたりのその他の診療に係る業務に必要な時間	7分	8.5分	8.6分
	1日当たりの平均診療回数(獣医師1人当たり)	4.8	5.6	5.2
	傷病1件当たりの平均診療回数	3.5	3.8	3.6

中央家畜診療センター大衡支所

		H29	H30	R1
	年間診療回数(獣医師1人当たり)	2,304頭	1,728頭	1,728頭
	診療1回あたりの平均診療時間	15分	20分	20分
	診療1回あたりの平均往診時間	25分	30分	30分
	診療1回あたりのその他の診療に係る業務に必要な時間	10分	15分	15分
	1日当たりの平均診療回数(獣医師1人当たり)	9	7	7
	傷病1件当たりの平均診療回数	4	3	3

中央家畜診療センター

		H29	H30	R1
	年間診療回数(獣医師1人当たり)	2,300頭	2,350頭	2,400頭
	診療1回あたりの平均診療時間	25分	25分	25分
	診療1回あたりの平均往診時間	15分	15分	15分
	診療1回あたりのその他の診療に係る業務に必要な時間	15分	15分	15分
	1日当たりの平均診療回数(獣医師1人当たり)	7	7	7
	傷病1件当たりの平均診療回数	3.5	3.5	3.5

県北家畜診療センター

		H29	H30	R1
	年間診療回数(獣医師1人当たり)	2,534頭	2,728頭	2,348頭
	診療1回あたりの平均診療時間	27.9分	27.5分	28.4分
	診療1回あたりの平均往診時間	12.8分	12分	
	診療1回あたりのその他の診療に係る業務に必要な時間	10分	11分	9分
	1日当たりの平均診療回数(獣医師1人当たり)	8	9	8
	傷病1件当たりの平均診療回数	3.4	3.57	3.3

【獣医療に関する学会、研修会、講習会等の開催状況】

○宮城県獣医師会

【令和元年度】

開催時期	学会、研修会、講習会の名称	主催者	対象者
5月	緊急災害時動物ボランティア認定事業に係る認定証交付式並びに合同講習会	宮城県獣医師会	災害時動物救護ボランティア
6月	南東北しゃくなげ会 第9回南東北しゃくなげ会	宮城県獣医師会共催	南東北地区産業動物獣医師 関係機関
	中央支部 利府町6.12総合防災訓練 ^{ペット} 同行避難訓練(ボランティア更新講習会①)	宮城県獣医師会	利府町町民 災害時動物救護ボランティア
7月	中央支部(塩釜) 利府町夏休み動物ふれあい教室(7/29、7/31、8/5、8/7)	宮城県獣医師会中央支部	利府町立小学校児童
8月	中央支部(岩沼) 亘理町環境フェスティバル しつけ方教室	宮城県獣医師会中央支部	亘理町民(犬猫等飼育者)
	中央支部(塩釜) 動物ふれあい教室(8/19)	宮城県獣医師会中央支部	七ヶ浜町立小学校児童
	栗原支部 2019栗原市産業まつり(動物愛護啓発並びに無料 ^{ペット} 相談会)	宮城県獣医師会栗原支部	栗原市民(犬猫等飼育者)
10月	中央支部(黒川) 飼い犬のしつけ方教室	宮城県獣医師会中央支部	富谷市民(犬猫等飼育者)
	獣医学術東北地区学会	宮城県獣医師会共催	東北地区獣医師(県及びNOSAI職員含む)
	中央支部(黒川) ^{ペット} 相談(大衡村ふるさと祭り)	宮城県獣医師会中央支部	大衡村民(犬猫等飼育者)
	栗原支部 犬のしつけ方教室	宮城県獣医師会栗原支部	栗原市民(犬猫等飼育者)
	中央支部 動物看護師向け講習会	宮城県獣医師会中央支部	小動物臨床獣医師 動物看護師
11月	石巻支部 講習会 皮膚科セミナー	宮城県獣医師会石巻支部	小動物臨床獣医師(地区会員)
	仙北支部 家庭犬しつけ方教室	宮城県獣医師会仙北支部	登米市民(犬猫等飼育者)
	仙北支部 家庭犬しつけ方教室	宮城県獣医師会仙北支部	気仙沼市民(犬猫等飼育者)
12月	石巻支部 動物愛護セミナー	宮城県獣医師会石巻支部	石巻市民(犬猫等飼育者)・獣医師
	アジア獣医皮膚科専門医協会 ひふゼミ@仙台	宮城県獣医師会後援	小動物臨床獣医師(県外も含む)
	日本獣医麻酔外科学会 東北地区講習会	宮城県獣医師会後援	小動物臨床獣医師(県外も含む)
	第3回みちのくウェットラボ	宮城県獣医師会後援	小動物臨床獣医師(県外も含む)
	元年度動物愛護福祉講習会	宮城県獣医師会	会員獣医師 ペット関係専門学校生
	元年度小動物臨床講習会	宮城県獣医師会	小動物臨床獣医師
1月	宮城県家畜保健衛生業績発表会特別講演(日本獣医師会委託講習会 獣医公衆衛生講習会(東北地区))	宮城県獣医師会共催	家畜衛生関係獣医師 産業動物臨床獣医師 関係機関職員
	新春講演会	宮城県獣医師会	会員獣医師 一般市民
	大崎支部 体験発表会及び新年の集い	宮城県獣医師会大崎支部	支部会員獣医師
2月	(一社)日本小動物獣医師会 生涯研修・卒後研修講習会	宮城県獣医師会共催	東北地区小動物臨床獣医師
	元年度産業動物臨床講習会	宮城県獣医師会	産業動物臨床獣医師 畜産農家
	狂犬病予防注射指定獣医師事業推進会議・研修会	宮城県獣医師会	狂犬病予防注射指定獣医師

【平成30年度】

開催時期	学会、研修会、講習会の名称	主催者	対象者
5月	緊急災害時動物ボランティア認定証交付式・認定希望者講習会(支援講習会)	宮城県獣医師会	災害時動物救護ボランティア
7月	仙北支部 動物ふれあい教室	宮城県獣医師会仙北支部	登米市民
	中央支部(塩釜) 夏休み動物ふれあい教室(利府町) (7/23.8/1.8/8)	宮城県獣医師会中央支部後援	利府町立小学校児童
	中央支部 動物ふれあい教室(7/30.8/6)	宮城県獣医師会中央支部	七ヶ浜町立小学校児童
8月	中央支部 亶理町環境フェスティバル しつけ方教室	宮城県獣医師会中央支部	亶理町民(犬猫等飼育者)
	栗原支部 動物愛護啓発事業 無料ペット相談(栗原市民まつり)	宮城県獣医師会栗原支部	栗原市民(犬猫等飼育者)
10月	獣医学術東北地区学会	宮城県獣医師会共催	東北地区獣医師(県及びNOSAI職員含む)
	栗原支部 犬のしつけ方教室	宮城県獣医師会栗原支部	栗原市民(犬猫等飼育者)
	中央支部 おおひらふるさと祭り ペット相談コーナー	宮城県獣医師会中央支部	大衡村民
	中央支部 名取市市民秋祭り しつけ方教室	宮城県獣医師会中央支部	名取市民(犬猫等飼育者)
	30年度動物愛護福祉講習会	宮城県獣医師会	会員獣医師 ペット関係専門学校生
	仙北支部 家庭犬しつけ方教室	宮城県獣医師会仙北支部	登米市民(犬猫等飼育者)
	仙北支部 家庭犬しつけ方教室	宮城県獣医師会仙北支部	気仙沼市民(犬猫等飼育者)
	獣医療提供体制整備推進総合対策事業に係る管理獣医師の実践的な技術・知識を修得するための講習会(管理獣医師の理解醸成のためのシンポジウム)(産業動物臨床シンポジウム)	宮城県獣医師会共催	東北地区産業動物臨床獣医師 日本家畜臨床学会会員 畜産関係機関職員
仙北支部 家庭犬しつけ方教室	宮城県獣医師会仙北支部	登米市民(犬猫等飼育者)	
12月	仙北支部 家庭犬しつけ方教室	宮城県獣医師会仙北支部	登米市民(犬猫等飼育者)
	30年度小動物臨床講習会	宮城県獣医師会共催	小動物臨床獣医師(県外も含む)
	石巻支部 皮膚科講習会	宮城県獣医師会石巻支部	小動物臨床獣医師(地区会員)
1月	産業動物臨床講習会	宮城県獣医師会	産業動物臨床獣医師
	大崎支部 体験発表会・新年の集い	宮城県獣医師会大崎支部	支部会員獣医師
2月	中央支部 研修会	宮城県獣医師会中央支部	支部会員獣医師
	(一社)日本小動物獣医師会 卒後研修講習会	宮城県獣医師会共+F56催	東北地区小動物臨床獣医師
	緊急災害時動物救護コーディネーター講習会	宮城県獣医師会	宮城県内市町村職員
	中央支部 動物看護師向け講習会	宮城県獣医師会中央支部	小動物臨床獣医師 動物看護師
	狂犬病予防注射指定獣医師研修会	宮城県獣医師会	狂犬病予防注射指定獣医師
	仙北支部 獣医学術講習会	宮城県獣医師会仙北支部	支部会員 関係機関職員
3月	栗原支部 業績発表会	宮城県獣医師会栗原支部	支部会員 関係機関職員
	平成30年度小動物症例発表会	宮城県獣医師会	県内小動物臨床獣医師

【平成29年度】

開催時期	学会、研修会、講習会の名称	主催者	対象者
4月	緊急災害時動物認定事業に係る認定証交付式並びに意見交換会	宮城県獣医師会	災害時動物救護ボランティア
6月	平成29年度緊急災害時動物ボランティア認定事業①②	宮城県獣医師会	災害時動物救護ボランティア認定希望者
7月	仙北支部(登米)動物ふれあい教室	宮城県獣医師会仙北支部	登米市民(犬猫等飼育者)
	獣疫衛生事業推進会議及び研修会	宮城県獣医師会共催	宮城県及び市町村狂犬病予防担当者
	中央支部(塩釜)夏休み動物ふれあい教室(利府町)	宮城県獣医師会中央支部後援	利府町立小学校児童
	緊急災害時動物救護コーディネーター育成事業講習会	宮城県獣医師会	宮城県内市町村職員
	中央支部(塩釜)夏休み動物ふれあい教室(利府町)	宮城県獣医師会中央支部	利府町立小学校児童
8月	中央支部(塩釜)動物ふれあい教室(七ヶ浜町)	宮城県獣医師会中央支部	七ヶ浜町立小学校児童
	中央支部(塩釜)動物ふれあい教室(七ヶ浜町)	宮城県獣医師会中央支部	七ヶ浜町立小学校児童
	中央支部(塩釜)夏休み動物ふれあい教室(利府町)	宮城県獣医師会中央支部	利府町立小学校児童
	中央支部(岩沼)亙理環境フスタ(しつけ方教室)	宮城県獣医師会中央支部	亙理町民(犬猫等飼育者)
	中央支部(岩沼)岩沼市夏祭り(犬の飼育相談)	宮城県獣医師会中央支部	岩沼市民(犬猫等飼育者)
	栗原支部 栗原市民まつり(ペット相談)	宮城県獣医師会栗原支部	栗原市民(犬猫等飼育者)
	平成29年度緊急災害時動物ボランティア認定事業③④	宮城県獣医師会	災害時動物救護ボランティア認定希望者
9月	平成29年度緊急災害時動物ボランティア認定事業 同行避難訓練・宿泊体験	宮城県獣医師会	災害時動物救護ボランティア認定希望者
10月	栗原支部 犬のしつけ方教室	宮城県獣医師会栗原支部	栗原市民(犬猫等飼育者)
	平成29年度獣医学術東北地区学会	宮城県獣医師会共催	東北地区獣医師(県及びNOSAI職員等含む)
	中央支部(黒川)大衡村ふるさと祭り(ペット相談)	宮城県獣医師会中央支部	大衡村民
11月	中央支部(岩沼)名取市秋祭り(しつけ方教室)	宮城県獣医師会中央支部	名取市民(犬猫等飼育者)
	中央支部(黒川)犬のしつけ方教室	宮城県獣医師会中央支部	富谷市民(犬猫等飼育者)
	平成29年度緊急災害時動物ボランティア認定事業⑤⑥	宮城県獣医師会	災害時動物救護ボランティア認定希望者
	仙北(気仙沼) 家庭犬のしつけ方教室	宮城県獣医師会仙北支部	気仙沼市民(犬猫等飼育者)
	平成29年度小動物臨床講習会	宮城県獣医師会	小動物臨床獣医師
	動物看護師セミナーin仙台	宮城県獣医師会後援	動物看護師 ペット関係専門学校生
新規獣医師の技術研修並びに産業動物臨床研修会	宮城県獣医師会	新規獣医師 産業動物臨床獣医師	
1月	平成29年度日本小動物獣医師会 生涯教育・卒後研修講習会	宮城県獣医師会共催	東北地区小動物臨床獣医師
	平成29年度動物愛護福祉講習会	宮城県獣医師会	会員獣医師 ペット関係専門学校生
	宮城県獣医師会大崎支部体験発表会及び新年の集い	宮城県獣医師会大崎支部	支部会員獣医師

開催時期	学会、研修会、講習会の名称	主催者	対象者
1月	平成30年新年の集い並びに平成29年度新春講習会	宮城県獣医師会	会員獣医師 一般市民
2月	緊急災害時コーディネーター育成事業講習会	宮城県獣医師会	宮城県内市町村職員
	仙北支部 獣医学術研修会	宮城県獣医師会仙北支部	支部会員 関係機関職員
	平成29年度狂犬病予防注射事業推進会議並びに研修会	宮城県獣医師会	狂犬病予防注射指定獣医師
3月	平成29年度小動物症例発表会	宮城県獣医師会共催	県内小動物臨床獣医師

○宮城県農業共済組合

【令和元年度】

開催時期	学会、研修会、講習会の名称	主催者	対象者
7月	家畜診療等技術体験発表会及び研修会	NOSAI宮城	NOSAI宮城獣医師職員、東北地区NOSAI獣医師職員、獣医系大学教員及び学生、宮城県職員、関係団体等
10月	家畜診療等技術地区別発表会及び研修会	NOSAI全国 NOSAI宮城	東北地区NOSAI獣医師職員、獣医系大学教員及び学生、関係団体等
2月	経営者セミナー並びに中核畜産農家経営支援研修会	宮城県畜産協会 NOSAI宮城	畜産生産者、JA畜産担当者

【平成30年度】

開催時期	学会、研修会、講習会の名称	主催者	対象者
7月	家畜診療等技術体験発表会及び研修会	NOSAI宮城	NOSAI宮城獣医師職員、東北地区NOSAI獣医師職員、獣医系大学教員及び学生、宮城県職員、関係団体等
2月	経営者セミナー並びに中核畜産農家経営支援研修会	宮城県畜産協会 NOSAI宮城	畜産生産者、JA畜産担当者

【平成29年度】

開催時期	学会、研修会、講習会の名称	主催者	対象者
7月	家畜診療等技術体験発表会及び研修会	NOSAI宮城	NOSAI宮城獣医師職員、東北地区NOSAI獣医師職員、獣医系大学教員及び学生、宮城県職員、関係団体等
2月	経営者セミナー並びに中核畜産農家経営支援研修会	宮城県畜産協会 NOSAI宮城	畜産生産者、JA畜産担当者

○仙台市

【令和元年度】

実施年月日	実施内容	主催者	対象者
5月	プレミテスト研修	市食肉衛生検査所	市職員
	食品衛生関係職員研修会	市生活衛生課	市職員
6月	炭疽実習	市食肉衛生検査所	市職員
	第2回食品衛生関係職員研修会	市衛生研究所	市職員
	関東東北地区動物園水族館獣医師臨床研究会(第41回)	八木山動物公園、研究会世話人	獣医師(動物園勤務)

実施年月日	実施内容	主催者	対象者
7月	H30年度HACCP平準化研修報告	市食肉衛生検査所	市職員
	牛白血病について	市食肉衛生検査所	市職員
	炭疽研修	市食肉衛生検査所	市職員
	食品監視センター業務研修	市生活衛生課	市職員
8月	病理精密検査法の手法について	市食肉衛生検査所	市職員
9月	理化学班の業務について	市食肉衛生検査所	市職員
	と畜場における牛腹腔内癌腫の合理的病理診断	市食肉衛生検査所	市職員
10月	Sarcocystis属寄生虫について	市食肉衛生検査所	市職員
	食品の信頼性確保トップセミナー	市	食品事業者、一般市民等
11月	大動物解体処理室へ導入するノッキングペンについて	市食肉衛生検査所	市職員
	ゆうパックにより検体を送付するための包装責任者養成研修会	市健康安全課	市職員
	国立保健医療科学院伝達講習「豚コレラ防疫体制」	市食肉衛生検査所	市職員
12月	豚の採血について	市食肉衛生検査所	市職員
	カウパンチャーの使用について	市食肉衛生検査所	市職員
1月	肉の生食に関する啓発活動および市民意識調査	市食肉衛生検査所	市職員
	地域保健福祉研究業績発表会	市健康福祉局	市職員
	HACCPによる食品の自主衛生管理に関する食品衛生監視員講習会	市食品監視センター	市職員
	食品の安全性に関する講演会	市生活衛生課	一般市民、食品事業者、自治体職員等
2月	と畜場におけるリンパ節検査について	市食肉衛生検査所	市職員
	第5回食品衛生関係職員研修会	市生活衛生課	市職員
	第6回食品衛生関係職員研修会	市生活衛生課	市職員
	HACCPによる食品の自主衛生管理に関する食品衛生監視員講習会	市食品監視センター	市職員
3月	動物用医薬品の使用に関する事例	食肉衛生検査所	市職員

【平成30年度】

実施年月日	実施内容	主催者	対象者
5月	プレミテスト研修	市食肉衛生検査所	市職員
6月	牛白血病について	市食肉衛生検査所	市職員
	第2回食品衛生関係職員研修会	市生活衛生課	市職員
	病理迅速診断法実習	市食肉衛生検査所	市職員

実施年月日	実施内容	主催者	対象者
7月	炭疽実習	市食肉衛生検査所	市職員
	炭疽研修	市食肉衛生検査所	市職員
	食品監視センター業務研修	市生活衛生課	市職員
	場内衛生監視および豚の工程検査結果について	市食肉衛生検査所	市職員
	と畜場で必要な臨床病理形態検査について	市食肉衛生検査所	市職員
8月	とちく検査で注意したい疾病 ヨーネ病について	市食肉衛生検査所	市職員
	H29年度抗菌性物質残留事例について	市食肉衛生検査所	市職員
	豚の現場でよく見る病変について	市食肉衛生検査所	市職員
9月	アンピシリンを中心としたペニシリン系抗生物質のLC/MS/MS分析法	市食肉衛生検査所	市職員
	2012年～2018年におけるヒト感染性胃腸炎からのサポウイルス検出状況	市食肉衛生検査所	市職員
	ゆうパックにより検体を送付するための包装責任者養成研修会	市健康安全課	市職員
10月	第4回食品衛生関係職員研修会	市生活衛生課	市職員
	第74回病理部会研修会 予演「牛の肝臓の腫瘍」	市食肉衛生検査所	市職員
11月	平成30年度動物園等における高病原性鳥インフルエンザへの対応に係る講習会	環境省、八木山動物公園	市職員、環境省職員、動物園関係者、専門家(大学等)
12月	牛枝肉積込コンベア等の検査結果	市食肉衛生検査所	市職員
	地球温暖化、気候変動に関する野生動物への影響に関する映画上映及び講演会	八木山動物公園 (後援NPO法人アフリカ日本協議会)	来園者
1月	仙台市ミートプラントに搬入された豚のカンピロバクター保有状況調査	市食肉衛生検査所	市職員
	地域保健福祉研究業績発表会	市健康福祉局	市職員
	HACCPによる食品の自主衛生管理に関する食品衛生監視員講習会	市食品監視センター	市職員
	第14回関東東北・北海道ブロック動物園技術者研究会	八木山動物公園、日本動物園水族館協会	動物園関係者
2月	敗血症でよく見られる肉眼所見及び組織所見について	市食肉衛生検査所	市職員
	肉の生食に関するアンケート調査	市食肉衛生検査所	市職員
	HACCPによる食品の自主衛生管理に関する食品衛生監視員講習会	市食品監視センター	市職員
	化学物質リスクアセスメント	市食肉衛生検査所	市職員
3月	敗血症の同定と画像について	食肉衛生検査所	市職員
	第5回食品衛生関係職員研修会	市生活衛生課	市職員

【平成29年度】

実施年月日	実施内容	主催者	対象者
5月	プレミテスト研修	市食肉衛生検査所	市職員
6月	牛および豚メラノーマの病理迅速診断法の検討	市食肉衛生検査所	市職員
	病理迅速診断法実習	市食肉衛生検査所	市職員
7月	薬剤耐性菌対策に係る職員研修会	市健康安全課	市職員
	炭疽実習	市食肉衛生検査所	市職員
	炭疽研修	市食肉衛生検査所	市職員
	場内衛生監視および豚の工程検査結果について	市食肉衛生検査所	市職員
	第2回食品衛生関係職員研修会	市生活衛生課	市職員
	適正飼養セミナー「人とペットのビミョーな関係」	市動物管理センター	一般市民、市職員、県職員等
8月	とちく検査で注意したい疾病 ヨーネ病について	市食肉衛生検査所	市職員
	病理迅速診断法実習	市食肉衛生検査所	市職員
9月	敗血症の判断基準について	市食肉衛生検査所	市職員
	伝達講習「いわちく」における衛生管理の実際	市食肉衛生検査所	市職員
10月	病理精密検査に係るアンケートについて	市食肉衛生検査所	市職員
	豚の白血病について	市食肉衛生検査所	市職員
	第74回病理部会研修会予演「牛の腹腔内腫瘍」	市食肉衛生検査所	市職員
	膿毒症の判定基準について	市食肉衛生検査所	市職員
	病理迅速診断法実習	市食肉衛生検査所	市職員
11月	食品の信頼性確保トップセミナー	市	食品事業者、一般市民等
	第20回種保存会議	八木山動物公園、日本動物園水族館協会	動物園水族館関係者
12月	第4回食品衛生関係職員研修会	市生活衛生課	市職員
	病理迅速診断法実習	市食肉衛生検査所	市職員
	マルミゾウの野生下における現状に関する講演会	八木山動物公園 (後援NPO法人アフリカ日本協議会)	来園者
1月	当所の迅速病理診断と全国食肉衛生検査所協議会病理研修会症例システムを用いた検索が確定診断に有効であった仔牛胎児性癌の一症例	市食肉衛生検査所	市職員
	仙台市ミートプラントの新小動物施設について	市食肉衛生検査所	市職員
	地域保健福祉研究業績発表会	市健康福祉局	市職員
	とちく検査における多発性腫瘍について	市食肉衛生検査所	市職員
	敗血症と膿毒症の画像撮影について	市食肉衛生検査所	市職員
	伝達研修「HACCP導入における指導・検証の平準化に資する実地研修会」	市食肉衛生検査所	市職員
	先進地施設視察報告	市食肉衛生検査所	市職員
	HACCPによる食品の自主衛生管理に関する食品衛生監視員講習会	市食品監視センター	市職員

実施年月日	実施内容	主催者	対象者
2月	第回食品衛生関係職員研修会	市生活衛生課	市職員
	最近の牛におけるとく検査の状況について	市食肉衛生検査所	市職員
	東京検疫所の業務について	市食肉衛生検査所	市職員
	HACCPによる食品の自主衛生管理に関する食品衛生監視員講習会	市食品監視センター	市職員
3月	食肉まつりにおける「食肉の生食に関する市民へのアンケート調査」について	市食肉衛生検査所	市職員
	平成29年度敗血症のまとめ	市食肉衛生検査所	市職員

○宮城県
【令和元年度】

開催時期	学会、研修会、講習会の名称	主催者	対象者
4月	新任職員研修	県食肉衛生検査所	と畜検査員
	HPLC研修	県食肉衛生検査所	と畜検査員
	理化学研修	県食肉衛生検査所	と畜検査員
	放射性物質検査研修	県食肉衛生検査所	と畜検査員
5月	令和元年度第1回家畜衛生技術セミナー	仙台家畜保健衛生所病性鑑定班	家保・畜産振興部・畜産試験場・食肉衛生検査所
	所内技術研修	県食肉衛生検査所	と畜検査員
6月	令和元年度第1回家畜衛生研修会	県農政部畜産課	家保・畜産振興部・畜産試験場
7月	特定家畜伝染病防疫対策(埋却作業)研修会	(一社)宮城県建設業協会、(一社)宮城県畜産協会、宮城県農政部	(一社)宮城県建設業協会会員、宮城県、市町村、畜産関係団体、養豚農家他
	令和元年度第2回家畜衛生技術セミナー	仙台家畜保健衛生所病性鑑定班	家保・畜産振興部・畜産試験場・食肉衛生検査所
	細菌検査	県食肉衛生検査所	と畜検査員
	食鳥検査研修	県食肉衛生検査所	と畜検査員
8月	令和元年度第3回家畜衛生技術セミナー	仙台家畜保健衛生所病性鑑定班	家保・畜産振興部・畜産試験場・食肉衛生検査所
10月	令和元年度宮城県特定家畜伝染病対策仙台現地地方支部防疫作業従事者サポート業務訓練	仙台現地地方支部(仙台地方振興事務所)	仙台地方振興事務所(農業振興部、地方振興部、畜産振興部)
	令和元年度特定家畜伝染病防疫演習	北部地方振興事務所、北部家保、大崎畜産振興協議会、畜産協会、獣医師会大崎支部、鶏病研究会宮城県支部	市町村、関係団体、地方振興事務所(地方振興部等)、保健所、家畜保健衛生所
	令和元年度高病原性及び低病原性鳥インフルエンザ防疫演習	仙台地方振興事務所、仙台市保健所、宮城県畜産協会、宮城県獣医師会中央支部、鶏病研究会宮城県支部	仙台支部(仙台地方振興事務所他)及び各支部(地方振興部等)
	令和元年度宮城県特定家畜伝染病対策栗原現地地域部防疫演習	北部地方振興事務所栗原地域事務所(共催:栗原市)	宮城県特定家畜伝染病対策栗原現地地域部、栗原市、宮城県建設業協会栗原支部等
	食鳥検査研修	県食肉衛生検査所	と畜検査員
	病理研修	県食肉衛生検査所	と畜検査員
	所内技術研修	県食肉衛生検査所	と畜検査員
開催時期	学会、研修会、講習会の名称	主催者	対象者

11月	令和元年度宮城県特定家畜伝染病対策本部東部現地地方支部現地初動防疫訓練	東部現地地方支部 石巻地域畜産振興議会	現地地方支部職員
	令和元年度宮城県特定家畜伝染病対策登米現地地域部防疫演習	登米地域部	登米地域部
	家畜伝染病発生時における埋却演習	登米地域部・建設業協会	登米地域部・建設業協会
	令和元年度宮城県特定家畜伝染病対策気仙沼現地地方支部防疫演習	気仙沼現地地方支部	気仙沼現地地方支部
	令和元年度第2回家畜衛生研修会	農政部畜産課	家保・畜産振興部・畜産試験場
	令和元年度第4回家畜衛生技術セミナー	仙台家畜保健衛生所病性鑑定班	家保・畜産振興部・畜産試験場・食肉衛生検査所
	炭疽診断実習	県食肉衛生検査所	と畜検査員
	理化学研修	県食肉衛生検査所	と畜検査員
12月	令和元年度特定家畜伝染病大河原現地地方支部防疫演習	大河原地方振興事務所	県・市町
1月	令和元年度宮城県家畜保健衛生業績発表会	農政部畜産課 共催：公益社団法人宮城県獣医師会 宮城県畜産技術連盟 宮城県畜産職員協議会 全国家畜衛生職員会宮城県支部 鶏病研究会宮城県支部	家保・畜産振興部・畜産試験場・関係団体等
	TSE検査研修	県食肉衛生検査所	と畜検査員
2月	令和元年度第3回家畜衛生研修会	農政部畜産課	家保・畜産振興部・畜産試験場
	令和元年度第5回家畜衛生技術セミナー	仙台家畜保健衛生所病性鑑定班	家保・畜産振興部・畜産試験場・食肉衛生検査所
	環境衛生技術職員研修	環境生活部	県職員
	宮城県食肉衛生検査所業績発表会	宮城県食肉衛生検査所	と畜場関係者、生産者、関係部署職員等
3月	令和元年度第4回家畜衛生研修会	農政部畜産課	家保・畜産振興部・畜産試験場
	所内技術研修	県食肉衛生検査所	と畜検査員

【平成30年度】

開催時期	演習名	主催者	参集範囲
4月	新任職員研修	県食肉衛生検査所	と畜検査員
5月	第1回家畜衛生技術セミナー	仙台家畜保健衛生所病性鑑定班	家保・畜産振興部・畜産試験場・食肉衛生検査所
6月	細菌検査実習	県食肉衛生検査所	と畜検査員
	精密検査研修	県食肉衛生検査所	と畜検査員
	TSE検査研修	県食肉衛生検査所	と畜検査員
7月	第2回家畜衛生技術セミナー	仙台家畜保健衛生所病性鑑定班	家保・畜産振興部・畜産試験場・食肉衛生検査所
	第1回家畜衛生研修会	農林水産部畜産課	家保・畜産振興部・畜産試験場
	炭疽防疫実働演習	県食肉衛生検査所	と畜検査員、と畜場従業員等

開催時期	演習名	主催者	参集範囲
8月	平成30年度宮城県高病原性及び低病原性鳥インフルエンザ移動規制班防疫演習	農林水産部、一般社団法人宮城県畜産協会、仙台家畜保健衛生所	県(農林水産部・土木部)、(株)丸山製作所東北支店、一般社団法人宮城県ベストコントロール協会、総合警備保障株式会社等
	第3回家畜衛生技術セミナー	仙台家畜保健衛生所病性鑑定班	家保・畜産振興部・畜産試験場・食肉衛生検査所
	微生物検査に係る技術研修	県保健環境センター	と畜検査員
	平成30年度第3回家畜衛生技術セミナー	仙台家畜保健衛生所病性鑑定班	家保・畜産振興部・畜産試験場・食肉衛生検査所
	所内研修(検査技術研修)	県食肉衛生検査所	と畜検査員
	TSE検査研修	県食肉衛生検査所	と畜検査員
	炭疽診断実習	県食肉衛生検査所	と畜検査員
9月	第4回家畜衛生技術セミナー	仙台家畜保健衛生所病性鑑定班	家保・畜産振興部・畜産試験場・食肉衛生検査所
	平成30年度高病原性及び低病原性鳥インフルエンザ防疫演習	北部地方振興事務所、北部家畜保健衛生所、農林水産部、色麻町、大崎畜産振興協議会、一般社団法人宮城県畜産協会、公益社団法人宮城県獣医師会大崎支部、鶏病研究会宮城県支部	県、管内市町村、関係団体
10月	平成30年度高病原性及び低病原性鳥インフルエンザ防疫演習	仙台地方振興事務所、仙台家畜保健衛生所、一般社団法人宮城県畜産協会、鶏病研究会宮城県支部	県、管内市町村、関係団体
	平成30年度高病原性及び低病原性鳥インフルエンザ登米現地地域部防疫研修会	東部地方振興事務所登米地域事務所	登米現地支部職員
	平成30年度高病原性鳥インフルエンザ及び低病原性鳥インフルエンザ移動規制班防疫演習	仙台土木事務所、仙台家畜保健衛生所、一般社団法人宮城県畜産協会	県、大衡村、畜産関係団体、養鶏農家
	宮城県建設業協会気仙沼支部家畜伝染病発生時における埋却演習	宮城県建設業協会気仙沼支部	宮城県建設業協会気仙沼支部員
11月	家畜伝染病発生時における埋却演習	宮城県建設業協会登米支部	宮城県建設業協会登米支部員
	平成30年度高病原性及び低病原性鳥インフルエンザ対策本部東部現地地方支部机上演習	東部地方振興事務所	東部現地地域地方支部職員
	平成30年度高病原性及び低病原性鳥インフルエンザ対策本部東部現地地方支部防疫演習「埋却演習」	東部地方振興事務所、東部家畜保健衛生所、県建設業協会石巻支部	東部現地地域地方支部職員、建設業協会石巻支部会員、石巻市農林課職員、管内養鶏農家
	平成30年度家畜伝染病防疫演習	大河原地方振興事務所	大河原現地地方支部職員、管内市町、関係団体、養鶏農家等
	平成30年度栗原現地地域部高病原性及び低病原性鳥インフルエンザ防疫演習	北部地方振興事務所栗原地域事務所	栗原現地地域部職員
	理化学研修	県食肉衛生検査所	と畜検査員

開催時期	演習名	主催者	参集範囲
12月	平成30年度高病原性及び低病原性鳥インフルエンザ対策本部東部現地地方支部移動規制班防疫演習	東部地方振興事務所(土木部、水産漁港部、畜産振興部)	東部地方振興事務所(土木部、水産漁港部、畜産振興部)
	病理研修	県食肉衛生検査所	と畜検査員
	技術研修会	食と暮らしの安全推進課	鳥インフルエンザ検査担当者等
	TSE検査研修	県食肉衛生検査所	と畜検査員
1月	平成30年度宮城県家畜保健衛生業績発表会	農林水産部畜産課 共催:公益社団法人宮城県獣医師会 宮城県畜産技術連盟 宮城県畜産職員協議会 全国家畜衛生職員会宮城県支部 鶏病研究会宮城県支部	家保・畜産振興部・畜産試験場・関係団体等
	平成30年度環境衛生技術職員研修	環境生活部	県職員
2月	第2回家畜衛生研修会	農林水産部畜産課	家保・畜産振興部・畜産試験場
	環境衛生技術職員研修	環境生活部	県職員
	宮城県食肉衛生検査所業績発表会	宮城県食肉衛生検査所	と畜場関係者, 生産者, 関係部署職員等
3月	第3回家畜衛生研修会	農林水産部畜産課	家保・畜産振興部・畜産試験場
	第5回家畜衛生技術セミナー	仙台家畜保健衛生所病性鑑定班	家保・畜産振興部・畜産試験場・食肉衛生検査所
	第34回研究発表会	県保健環境センター	県職員
	復命講習	県食肉衛生検査所	と畜検査員
	所内研修	県食肉衛生検査所	と畜検査員

【平成29年度】

開催時期	演習名	主催者	参集範囲
4月	新任職員研修	県食肉衛生検査所	と畜検査員
5月	第1回家畜衛生技術セミナー	仙台家畜保健衛生所病性鑑定班	家保・畜産振興部・畜産試験場・食肉衛生検査所
6月	微生物検査に係る技術研修	県保健環境センター	と畜検査員
	平成29年度放射能県民安心事業(住民持ち込み放射能測定)研修会	環境省、宮城県	自治体職員
7月	第1回家畜衛生研修会	農林水産部畜産課	家保・畜産振興部・畜産試験場
	第2回家畜衛生技術セミナー	仙台家畜保健衛生所病性鑑定班	家保・畜産振興部・畜産試験場・食肉衛生検査所
8月	病理研修	県食肉衛生検査所	と畜検査員
	TSE検査研修	県食肉衛生検査所	と畜検査員
	高速液体クロマトグラフィーセミナー	県食肉衛生検査所	と畜検査員
9月	第2回家畜衛生研修会	農林水産部畜産課	家保・畜産振興部・畜産試験場
	第3回家畜衛生技術セミナー	仙台家畜保健衛生所病性鑑定班	家保・畜産振興部・畜産試験場・食肉衛生検査所

開催時期	演習名	主催者	参集範囲
11月	平成29年度高病原性及び低病原性鳥インフルエンザ防疫演習(埋却)	大河原地方支部(等)	家保、建設業協会
	平成29年度高病原性及び低病原性鳥インフルエンザ防疫演習(殺処分・消毒等)	大河原地方支部(等)	大河原現地地方支部職員(合庁・警察署)、県関係機関、市町、関係団体((一社)建設業協会仙南支部等))
	平成29年度高病原性及び低病原性鳥インフルエンザ防疫演習(実働演習)	農林水産部、仙台地方振興事務所(家保)、(一社)宮城県畜産協会、鶏病研究会宮城県支部	県機関、市町村、(一社)宮城県建設業協会・管内支部、(一社)宮城県ペストコントロール協会等関係団体
	平成29年度高病原性及び低病原性鳥インフルエンザ防疫演習	北部地方振興事務所、北部家畜保健衛生所、色麻町、加美町、大崎畜産振興協議会、(一社)宮城県畜産協会、(公社)宮城県獣医師会大崎支部、鶏病研究会宮城県支部	生産者、市町、農協、農業共済支部、大崎地域広域行政事務組合、(一社)宮城県建設業組合、警察署、北部保健福祉事務所、東北農政局、家畜防疫員、その他関係機関・団体
	平成29年度高病原性及び低病原性鳥インフルエンザ防疫演習(殺処分・着脱)	東部地方支部(等)	地方支部構成職員、石巻市、東松島市、女川町、その他関係機(県関係)
	平成29年度高病原性及び低病原性鳥インフルエンザ防疫演習(消毒・連絡)	気仙沼地方支部(等)	地方支部構成職員、気仙沼市、南三陸町、その他関係機(県関係)
	平成29年度高病原性及び低病原性鳥インフルエンザ防疫演習(机上・着脱)	栗原現地地域部(等)	地域部各所属、栗原市、(一社)宮城県建設業協会栗原支部
	平成29年度高病原性及び低病原性鳥インフルエンザ防疫演習(会議演習)	栗原現地地域部(等)	栗原地域部職員(本部長以下各部班長級以上の職員)、栗原市
	平成29年度高病原性及び低病原性鳥インフルエンザ防疫演習(埋却)	(一社)宮城県建設業協会登米支部	(一社)宮城県建設業協会登米支部、登米地域事務所(地方振興部、畜産振興部、農業農村整備部)
	平成29年度高病原性及び低病原性鳥インフルエンザ防疫演習(着脱等)	登米現地地域部(等)	登米現地地域部職員、登米市、関係団体(JA・農業共済・建設業協会支部・獣医師会・畜産協会)
	炭疽診断実習	県食肉衛生検査所	と畜検査員
食品・環境の放射能・放射線測定実務研修	環境放射線監視センター	県職員	
1月	平成29年度宮城県家畜保健衛生業績発表会	農林水産部畜産課 共催:公益社団法人宮城県獣医師会 宮城県畜産技術連盟 宮城県畜産職員協議会 全国家畜衛生職員会宮城県支部 鶏病研究会宮城県支部	家保・畜産振興部・畜産試験場・関係団体等
	平成29年度高病原性及び低病原性鳥インフルエンザ防疫演習(机上)	気仙沼地方支部(等)	地方支部構成職員、気仙沼市、南三陸町等
2月	第3回家畜衛生研修会	農林水産部畜産課	家保・畜産振興部・畜産試験場
	第4回家畜衛生技術セミナー	仙台家畜保健衛生所病性鑑定班	家保・畜産振興部・畜産試験場・食肉衛生検査所
	平成29年度環境衛生技術職員研修	環境生活部	県職員
	平成29年度第4回家畜衛生技術セミナー	仙台家畜保健衛生所病性鑑定班	家保・畜産振興部・畜産試験場・食肉衛生検査所
	復命講習及び検査技術講習	県食肉衛生検査所	と畜検査員
3月	第4回家畜衛生研修会	農林水産部畜産課	家保・畜産振興部・畜産試験場